

# 浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2025年2月期調査結果（2025年4月発表分）

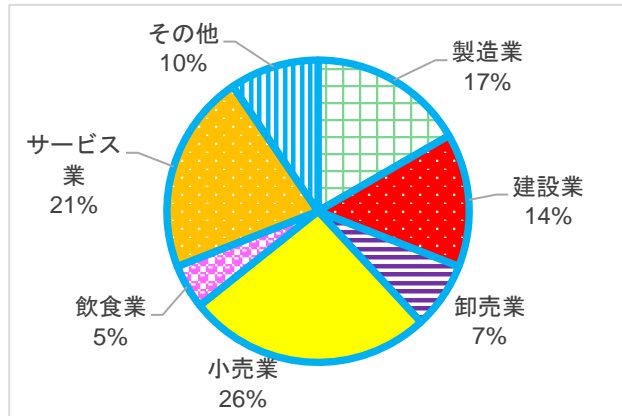
浜松商工会議所

## 調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2024年度景気ウォッチャー調査員（69名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は42名（回答率は60.8%）

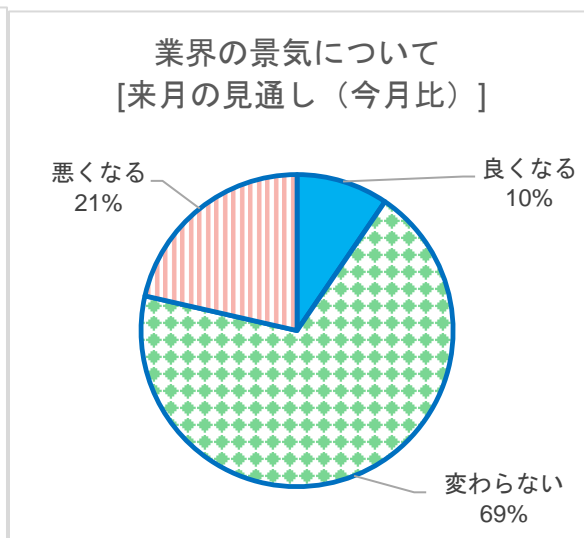
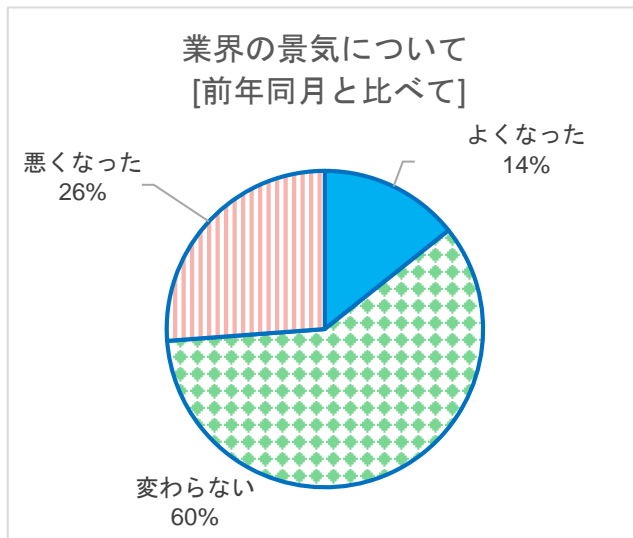
業種	回答者数	構成比
製造業	7	16.7%
建設業	6	14.3%
卸売業	3	7.1%
小売業	11	26.2%
飲食業	2	4.8%
サービス業	9	21.4%
その他	4	9.5%
計	42	100%



## 調査結果のポイント

### <景況>

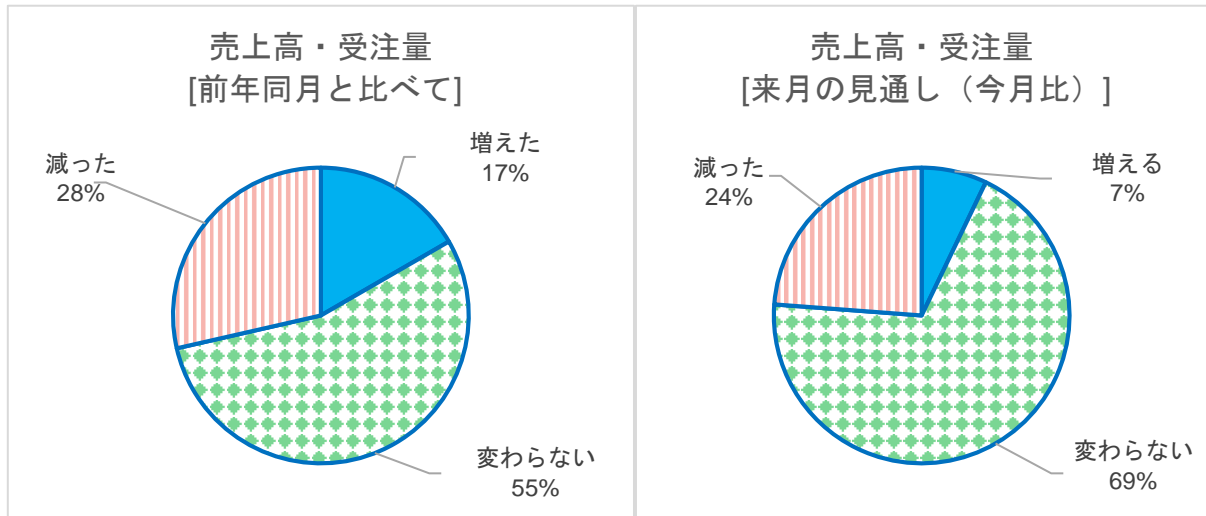
- ・2025年2月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が14.3%、「変わらない」が59.5%、「悪くなった」が26.2%となりました。
- ・2025年3月以降の見通しについて、2月と比較して、「よくなる」が9.5%、「変わらない」が69.0%、「悪くなる」が21.4%となりました。



<売上高・受注>

・2025年2月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」が16.7%、「変わらない」が54.8%、「減った」が28.6%となりました。

・2025年3月以降の見通しについて、2月と比較して、「増える」が7.1%、「変わらない」が69.0%、「減る」が23.8%となりました。



【景気動向DI (毎月版)】

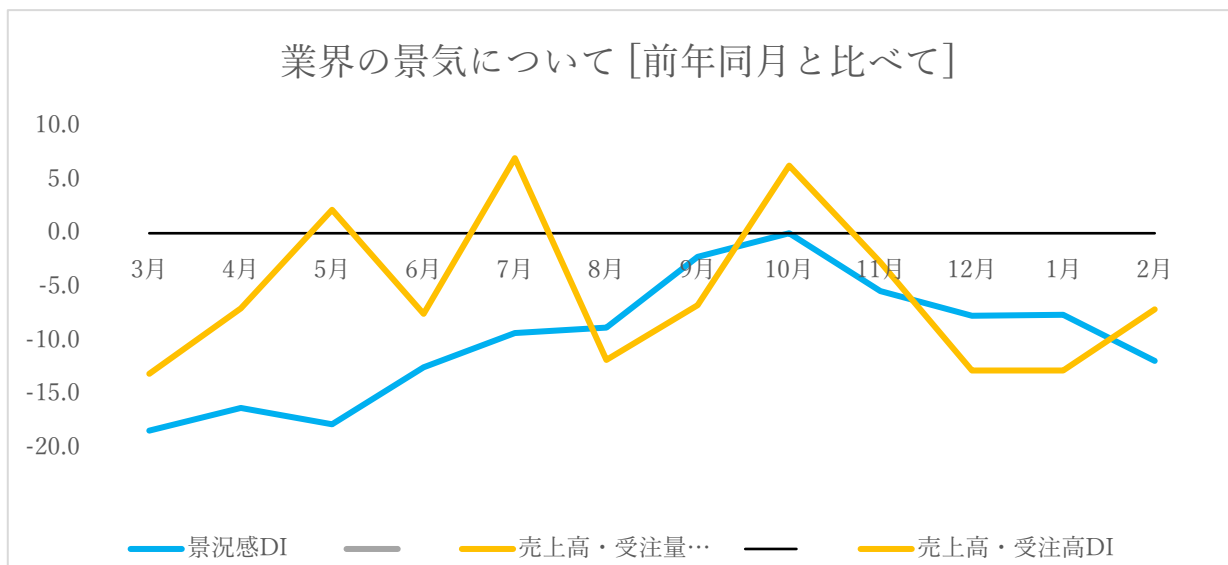
<概要>

景気ウォッチャー調査員69名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

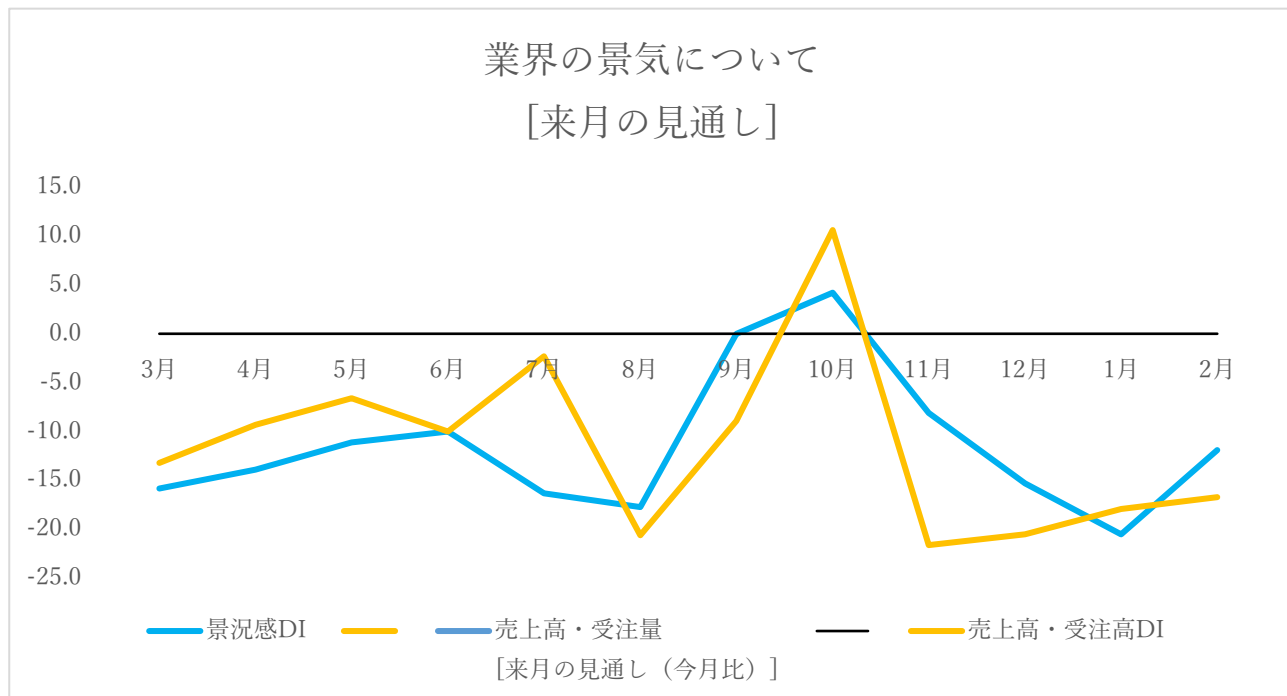
⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2024年3月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
景況感DI	-18.4	-16.3	-17.8	-12.5	-9.3	-8.8	-2.2	0.0	-5.4	-7.7	-7.6	-11.9
売上高・受注量 [前年同月と比べて]	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
売上高・受注高DI	-13.1	-7.0	2.2	-7.5	7.0	-11.8	-6.7	6.3	-2.7	-12.8	-12.8	-7.1

2024年2月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について  
[来月の見通し(今月比)]

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
景況感DI	-15.8	-13.9	-11.1	-10.0	-16.3	-17.7	0.0	4.2	-8.1	-15.3	-20.5	-11.9

売上高・受注量  
[来月の見通し(今月比)]

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
売上高・受注高DI	-13.2	-9.3	-6.6	-10.0	-2.3	-20.6	-8.9	10.6	-21.6	-20.5	-17.9	-16.7

#### 【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
楽器(製)	いろいろな地域からインバウンド向け商品の問い合わせが来ている。
サッシ・ドア(製)	相変わらず受注量は少ない。また単価も安い。
木製家具(製)	いまは年度末にむけて仕事がでてきているが、4月以降は読めない。
家庭電化製品(販)	蛍光管の生産が2027年に終了するため、問合せやLED照明器具へ買替が多い。
一般貨物自動車運送業	燃油・車両価格・人件費などが高騰しており、厳しい状況が続いている。
事業協同組合(青果)	物価高が収まらない影響で小売などがし難くなっている。
事業協同組合(石油)	2月のガソリン販売数量は、前年に比べ減少した。主要因は①前年が閏年②本年1月より補助金縮小により販売単価が上昇したことによる。
事業協同組合(機械)	人手不足、エネルギー価格を始めとする諸物価高騰、人件費増。
事業協同組合(鉄)	電気料金の高騰、ガソリン価格の高騰等が事業の利益を圧迫する要因も多いが、従業員個人においても電気代、ガソリン代の高騰が生活に不安を与えている。
事業協同組合(ものづくり)	日本発条の事故による生産調整が懸念される。
燃料(小)	LPガス料金補助金支給が決定した。お客様の負担軽減になるので、大変ありがたい施策である。
建築設計業	建設業界では「寒明け着工が吉」とされ、市内にて2月の節分以降に着工したと思われる工事現場の数が増えた感じがする。

業種区分	①物価高騰・円安の影響 ②人手不足・人材確保の動向 ③デジタル化・業務の効率化に向けた取組み ④海外市場の動向と輸出入環境の変化 ⑤その他
木製家具(製)	①物価の上昇はとまらないし、4月からまた上がるものがあるので、値上げのタイミングがわからない。何回もあげるわけにはいかない。
楽器(製)	①物価高騰は止まらず、いい影響はない。
警備業	②人手不足・人材確保の困難に、経営者の高齢化も加わり、事業継続をしないという警備業者の話を聞くようになった。
一般貨物自動車運送業	②相変わらず人手不足は深刻。同業他社ではなく、他業種も含めて人材確保のための競走となっている。
税理士	②新規雇用のためには賃上げが必要不可欠になっている。その影響で既存社員との給与額のミスマッチが発生し、さらに人件費の増加がおきている。
木製品(製)	④アメリカの関税の見通しが立たない
事業協同組合(機械)	④トランプ関税の自動車部品メーカーへの影響
事業協同組合(鉄)	④自動車関連は一進一退の状況が続いている。生産計画は上振れすることもあるが、親会社の輸出シェアの大きい米中が関税の問題も含め不透明なこともあり下振れする懸念もある。
事業協同組合(ものづくり)	④米国関税の見直しにより、今後の事業にマイナス影響を受けることが懸念される。
資材(卸)	④トランプ政権の動きで為替や原油など様々なところへ影響が出るので恐怖を感じる
税理士	⑤所得税について、利益が出ても所得控除と定額減税で消すことはできても、払える資金がない人が増えた。
社会保険労務士	⑤退職金積み立て掛金を増額改正することを従業員へ周知をすることにより、安定雇用への改革を進めている。
社会保険労務士	⑤この春から健康保険・介護保険・雇用保険の保険料率が下がる。わずかな減額ではあるが、伝える役としては多少荷が軽い。
茶(加・小)	⑤浜松市もようやく観光やインバウンドのお客様がこられはじめた。

以上

# 浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2025年3月期調査結果（2025年5月発表分）

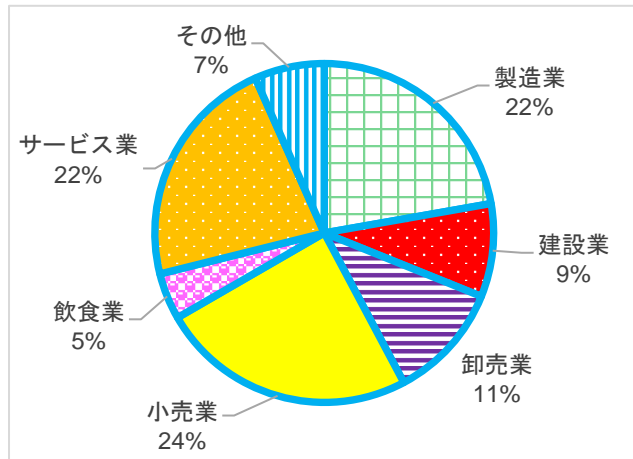
浜松商工会議所

## 調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2024年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は45名（回答率は69.2%）

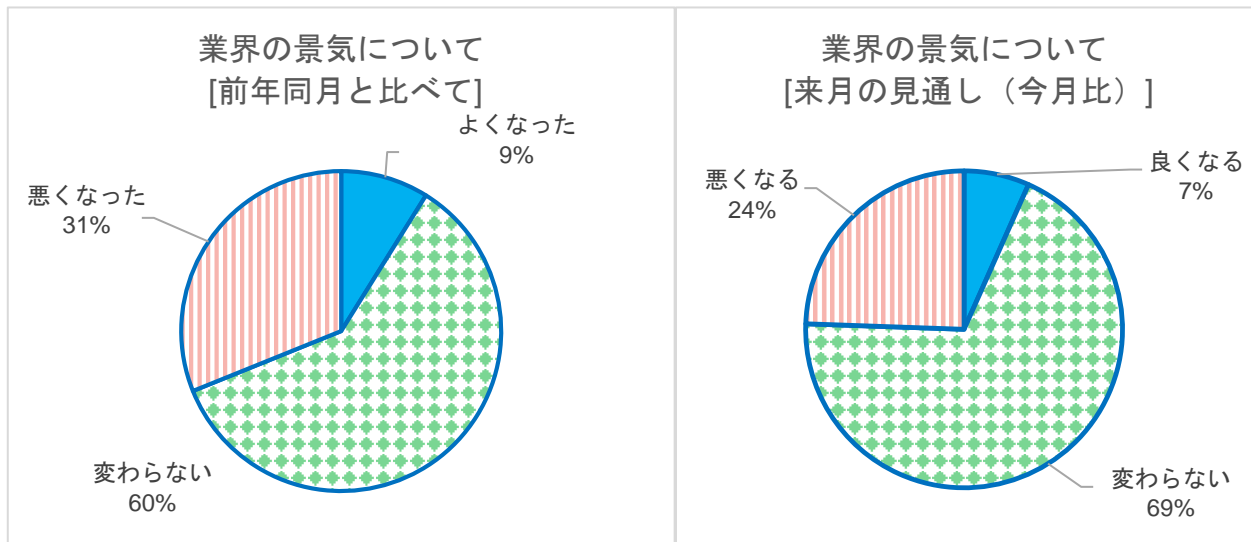
業種	回答者数	構成比
製造業	10	22.2%
建設業	4	8.9%
卸売業	5	11.1%
小売業	11	24.4%
飲食業	2	4.4%
サービス業	10	22.2%
その他	3	6.7%
計	45	100%



## 調査結果のポイント

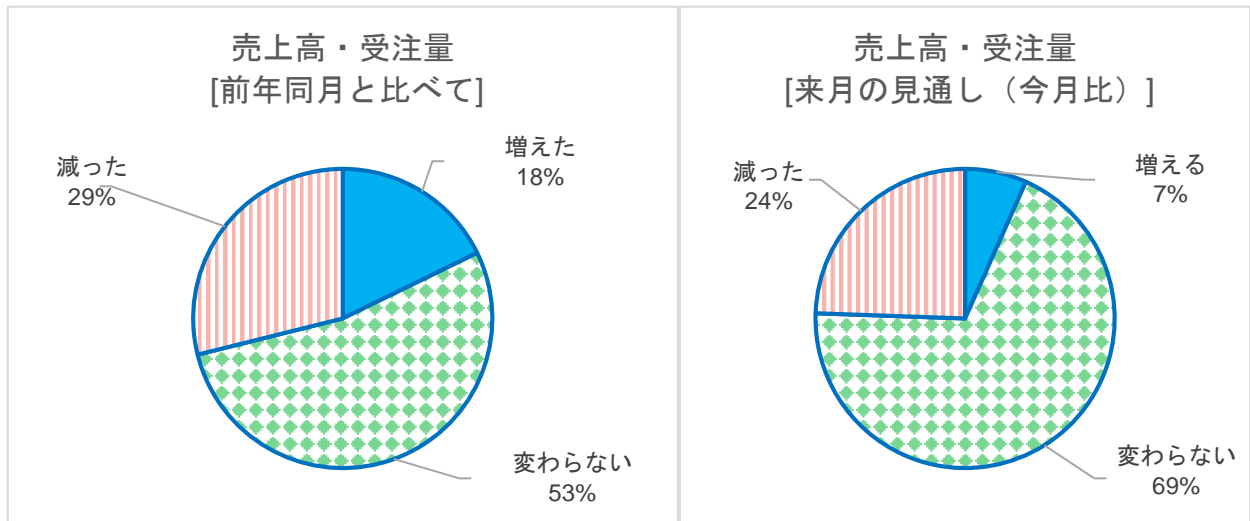
### <景況>

- ・2025年3月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が8.9%、「変わらない」が60.0%、「悪くなった」が31.1%となりました。
- ・2025年4月以降の見通しについて、3月と比較して、「よくなる」が6.7%、「変わらない」が68.9%、「悪くなる」が24.4%となりました。



<売上高・受注>

- ・2025年3月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」が17.8%、「変わらない」が53.3%、「減った」が28.9%となりました。
- ・2025年4月以降の見通しについて、3月と比較して、「増える」が6.7%、「変わらない」が68.9%、「減る」が24.4%となりました。



【景気動向DI (毎月版)】

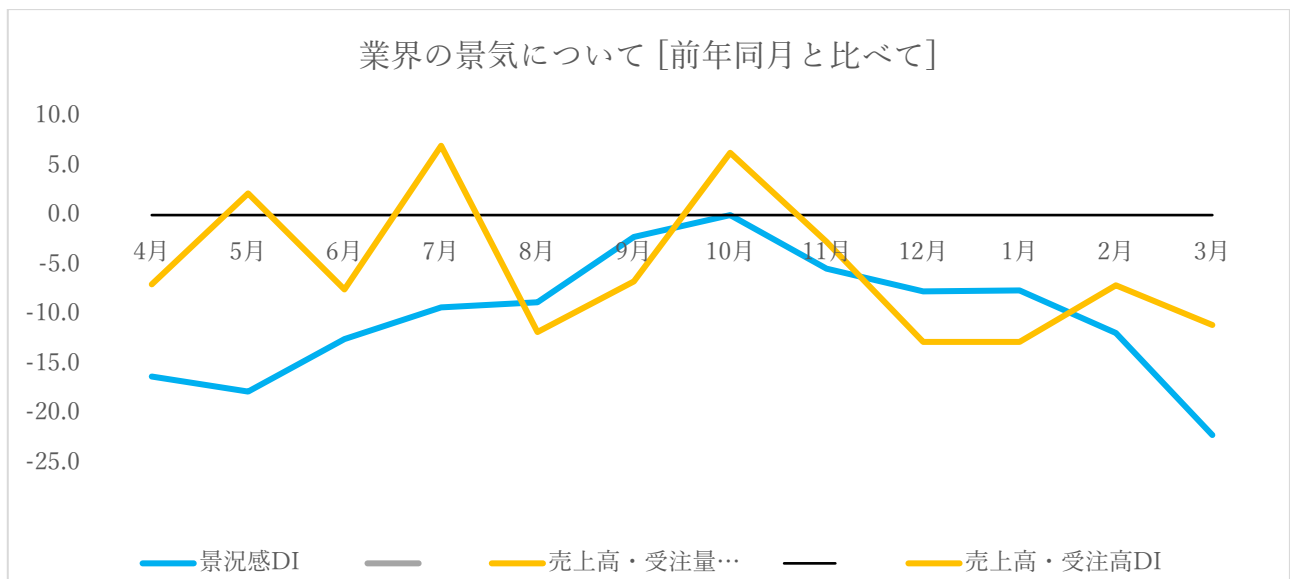
<概要>

景気ウォッチャー調査員69名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

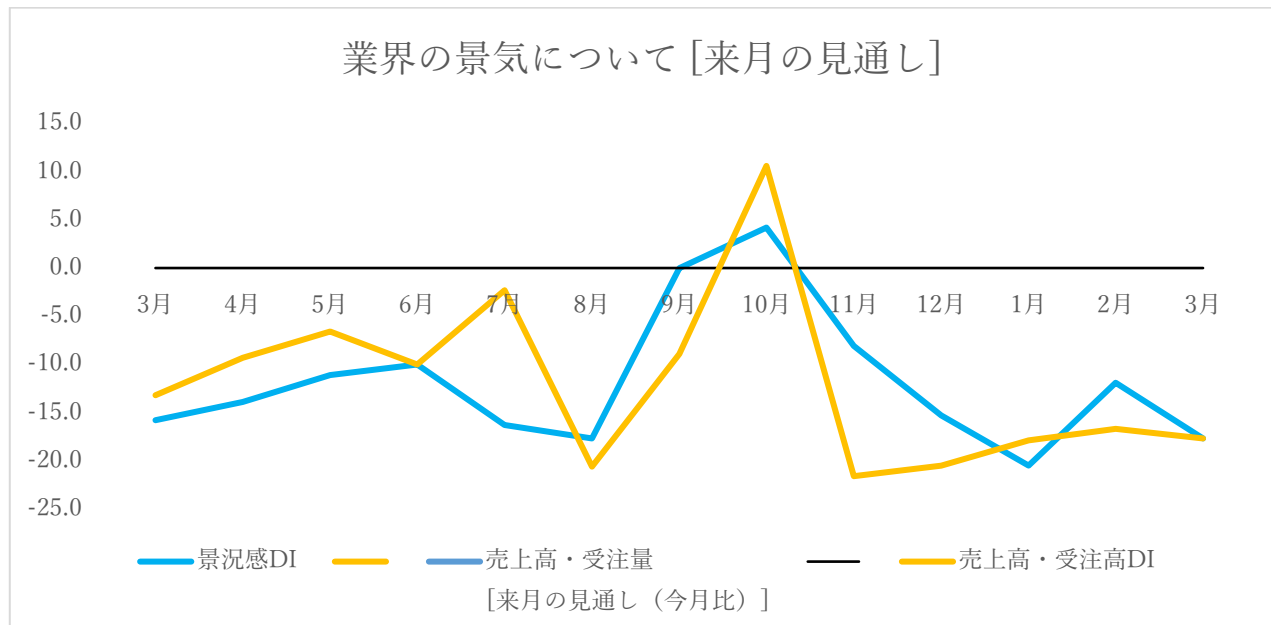
⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2024年4月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
景況感DI	-16.3	-17.8	-12.5	-9.3	-8.8	-2.2	0.0	-5.4	-7.7	-7.6	-11.9	-22.2
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上高・受注高DI	-7.0	2.2	-7.5	7.0	-11.8	-6.7	6.3	-2.7	-12.8	-12.8	-7.1	-11.1

2024年3月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について [来月の見通し(今月比)]													
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
景況感DI	-15.8	-13.9	-11.1	-10.0	-16.3	-17.7	0.0	4.2	-8.1	-15.3	-20.5	-11.9	-17.7
売上高・受注量 [来月の見通し(今月比)]													
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上高・受注高DI	-13.2	-9.3	-6.6	-10.0	-2.3	-20.6	-8.9	10.6	-21.6	-20.5	-17.9	-16.7	-17.7

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
鑄材(卸)	工作機械や木工機械の製造が低迷している
税理士	十分な価格転嫁ができていない
祭用品(小)	業界・地域ともに働く人の高齢化に伴い生産性が落ちている。
警備業	警備業の特に交通誘導警備では、年度末・年度始は工事の発注が減る。そのため、既存の警備員で対応するので、警備員の求人を一時止めている会社が多い。発注機関への年発注工事の平準化を警備業界として強く嘆願はしている。
税理士	収入減を得るため、色々な業種を手掛けるため、消費税の業種分類でトラブルが目立つ。
楽器(製)	最近インバウンド関連の問い合わせが増えてきて浜松以外での仕事が増えた
社会保険労務士	最近また詐欺まがいの営業電話が増えてきた。0120が表示された時は出ないにしているが、携帯番号からだともういかない。忙しいときに限って掛かってくるのは何故だろう？
ディスプレイ業	3月が年度末ということもあり、若干の駆け込み需要などがあり売上増加した。
木製家具(製)	賃上げはしたい、休みは取れ、納品はまにあわせたい、葛藤はつづいている
物流運搬設備(製)	年度末に向け忙しくなったが、その反動が出てくるのではと危惧している。
家庭電化製品(販)	今年は、早く暑い日が来るとの予想です。エアコン商戦に期待したい。
事業協同組合(石油)	3月のガソリン販売数量は、前年に比べ減少した。主要因は補助金縮小により販売単価が上昇したことによる。政府による補助は当面継続されるが、暫定税率廃止等の動向も含め今後は懸念される。また、トランプ米政権による関税措置などの経済政策が及ぼす影響も危惧される。
居酒屋	浜松祭りの関係者の飲みが増える見込み。

事業協同組合(鉄)	自動車関連の下請け企業が多く、アメリカの関税強化も今後かなり影響してくる懸念がある。さらにガソリンを含む燃料費の高騰が利益を圧迫しており、給与アップにも取り組む必要等、解決しなくてはならない問題が山積している。
梱包資材(卸)	ネットとの価格比較が益々ひどくなっており、担当変更などでより若い担当者がネットを使用することが増えている。
建築設計業	静岡県 の 2 月 の 住 宅 着 工 統 計 が 発 表 さ れ た 。 前 年 同 月 比 で -11% で し た 。 地 域 別 で は 、 中 部 が -34% に 対 し て 、 西 部 は +7.7% と な っ て い る 。 少 し 前 は 、 西 部 の 着 工 数 が 低 か っ た の が 、 今 回 は 盛 り 返 し て い る よ う だ 。
業種区分	①物価高騰・円安の影響 ②人手不足・人材確保の動向 ③デジタル化・業務の効率化に向けた取組み ④海外市場の動向と輸出入環境の変化 ⑤その他
鋳材(卸)	①円安の影響で販売量が低下している
木製家具(製)	①仕事量は増えているが、4月のあらゆる値上がりで変化があるかはまだわからない。3月までの発注で、上がる前にとの考えがあるのか。5月以降の落ち込みがなければいいかと懸念される！
実業団体(税務)	①すべての品目で物価高騰しているため予測がつかない
注染ゆかた(加)	①物価高騰を強く感じている。資材の高騰が続いている。
家庭電化製品(販)	①電気料金の高騰は、痛いです。
祭用品(小)	②人手不足により商品が思うようにできなくなっております。
ディスプレイ業	②中小企業に対して、特定の業種ではなく、すべての業種に従業員に対する賃上げを行うための補助制度がほしい。
事業協同組合(鉄)	②新年度も思うような人材確保(新卒採用)もできておらず、従業員の高齢化が進んでいる。 ④アメリカのトランプ政権による自動車関税強化による景気後退が懸念される。また部品、工具等、物価の高騰が利益を圧迫している。
物流運搬設備(製)	②人手不足を口にする先が増えたように思う。研修生を入れようか考えている。
web サイト制作	③会議などのハイブリッド配信の業務は、コロナ明けも減ったが、半分は残っている。
警備業	③警備業には法定で定められたことが多くあるが、教育ではeラーニング等、許可・申請等もWEBから等々、デジタル化が急速に取り組み実行されている。ただ、デジタル化に対応できない方々も未だ多くいるので、その方々へは従来通りとなっており、デジタル化100%まではまだまだ時間がかかりそう。
社会保険労務士	③テレワークの廃止・縮小の検討をしている事業所が増えてきた。まずは、承認制を採用しながら段階的に縮小していく傾向が強い。
社会保険労務士	③年度の変わり目は手続き業務が増えるのだが、e-Govのサーバーが貧弱なせいか毎年のように電子申請がエラー中断し、業務の効率化にならない。
梱包資材(卸)	④アメリカの関税の今後の影響力が不透明な為不安
事業協同組合(ものづくり)	④米国の関税問題により、受注に影響がでてくるのか先行きが不透明である
木製品(製)	④アメリカの関税率変更による影響がどの程度あるか。
税理士	⑤人件費をはじめとした必要経費の増加は今後も続くことが予想される。事業継続にはとにかく売上をいかに確保するか、増やしていくかに尽きる。
サッシ・ドア(製)	⑤どんな業種に聞いても、いい話を全く聞かない

# 浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2025年4月期調査結果（2025年6月発表分）

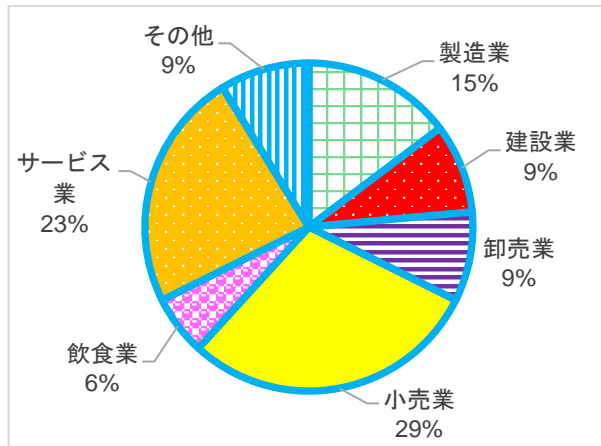
浜松商工会議所

## 調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2024年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は34名（回答率は53.1%）

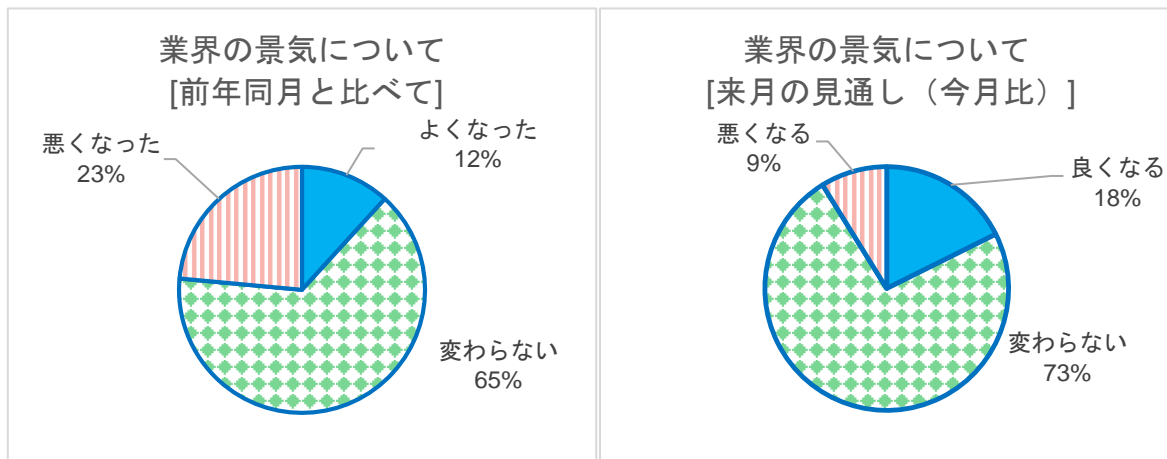
業種	回答者数	構成比
製造業	5	14.7%
建設業	3	8.8%
卸売業	3	8.8%
小売業	10	29.4%
飲食業	2	5.9%
サービス業	8	23.5%
その他	3	8.8%
計	34	100%



## 調査結果のポイント

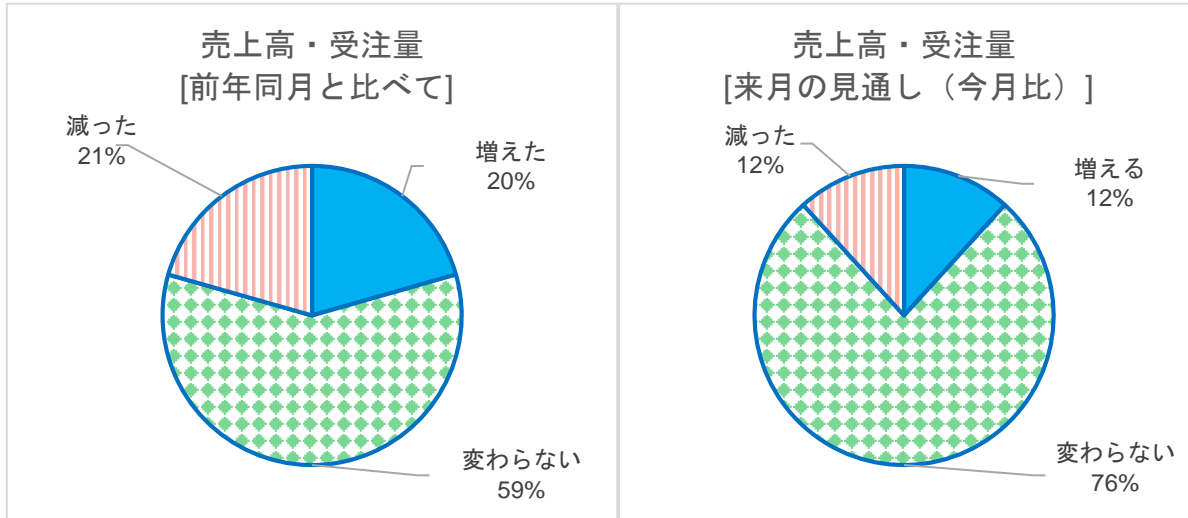
### <景況>

- ・2025年4月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が11.8%、「変わらない」が64.7%、「悪くなった」が23.5%となりました。
- ・2025年5月以降の見通しについて、前月と比較して、「よくなる」が17.6%、「変わらない」が73.5%、「悪くなる」が8.8%となりました。



<売上高・受注>

- ・2025年4月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」が20.6%、「変わらない」が58.8%、「減った」が20.6%となりました。
- ・2025年5月以降の見通しについて、前月と比較して、「増える」が11.8%、「変わらない」が76.5%、「減る」が11.8%となりました。



【景気動向DI (毎月版)】

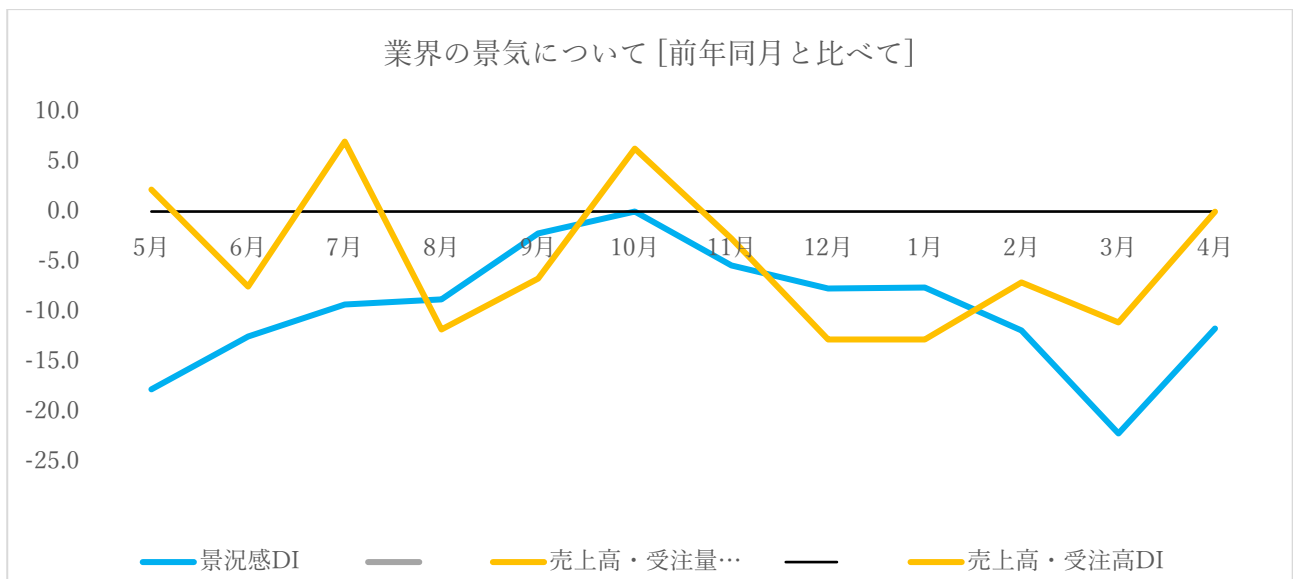
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

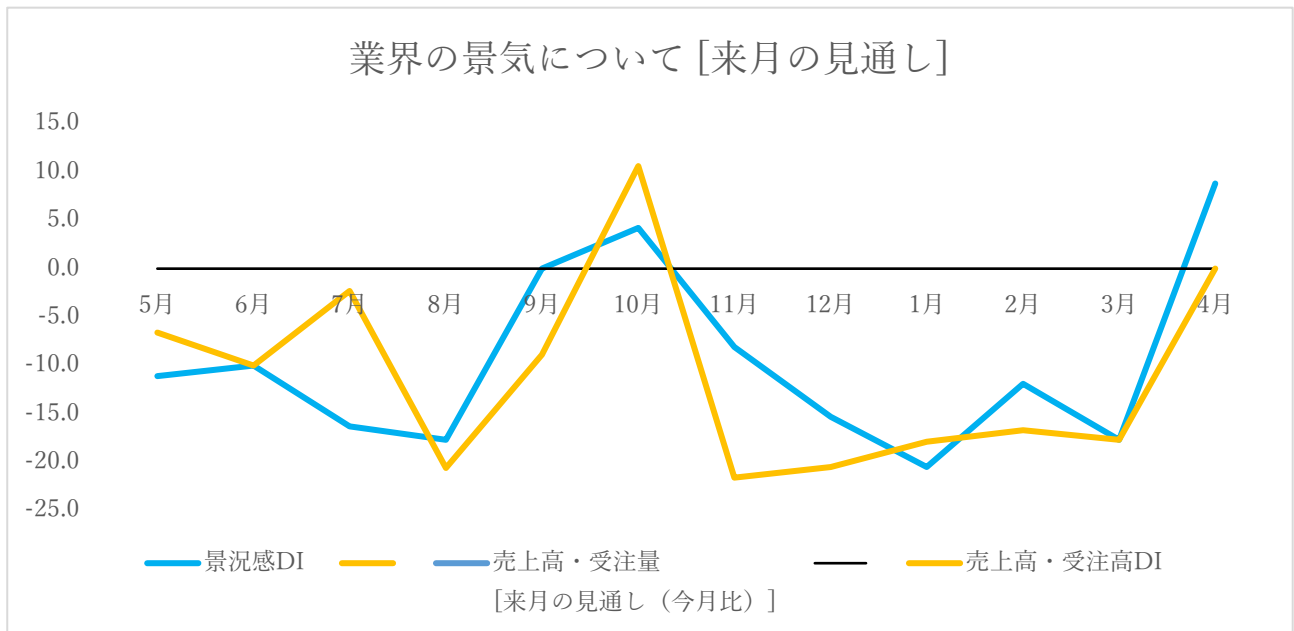
⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2024年4月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
景況感DI	-17.8	-12.5	-9.3	-8.8	-2.2	0.0	-5.4	-7.7	-7.6	-11.9	-22.2	-11.7
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
売上高・受注高DI	2.2	-7.5	7.0	-11.8	-6.7	6.3	-2.7	-12.8	-12.8	-7.1	-11.1	0.0

2024年4月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について [来月の見通し(今月比)]												
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
景況感DI	-11.1	-10.0	-16.3	-17.7	0.0	4.2	-8.1	-15.3	-20.5	-11.9	-17.7	8.8
売上高・受注量 [来月の見通し(今月比)]												
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
売上高・受注高DI	-6.6	-10.0	-2.3	-20.6	-8.9	10.6	-21.6	-20.5	-17.9	-16.7	-17.7	0.0

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
税理士	事務用機器販売で大手に価格と営業で太刀打ちできず苦戦。
祭用品(小)	作り手、働き手が高齢化して物が作れない。
警備業	万博会場内での警備員の土下座のSNS報道、その理由の真相はわからないもののハラスメントにならないため、ハラスメントへの対応、従来の養育だけでなく様々な教育が必要となっている。
税理士	トランプ政権・米価高騰のニュースの中で、元請顧客等のイメージが分からないという人もいた。
楽器(製)	かなり人は動いているようだが、他地域に比べると浜松に来る人はまだ少ない印象。
経営コンサルタント	製造業で人材不足が顕著になっている
ディスプレイ業	どうしても月によって落ち込む（仕事が薄い）4月の年度初めは特に。
家庭電化製品(販)	家電メーカーの商品作りが、変わって来ました。白物家電は、コンパクト化。AV商品は、選択と集中で少品種です。
事業協同組合(石油)	4月のガソリン販売数量は、前年に比べ減少した。主要因は補助金縮小により販売単価が高止まりしたことによる。政府による補助は5月に定額引き下げ措置に移行し当面継続されるが、旧暫定税率廃止等の動向も含め今後が懸念される。また、トランプ米政権による関税措置などの経済政策が及ぼす影響も危惧される。
事業協同組合(機械)	自動車関連機械金属産業の先行き不透明感がある

事業協同組合(鉄)	四輪の受注増加が見込めつつも世界情勢が不穏状態で様子見姿勢である。
梱包資材(卸)	賃上げの影響による値上 メーカーにて賃上げの為の値上げが行われているが、メーカーごとに対応が異なる為、卸売り業としては価格転嫁が難しく対応に頭を抱えている。
建築設計業	建設業界は、年度初めの4月は官公庁の発注準備が済んだ後の発注になるため、設計・工事共に比較的受注量が薄い時期になります。
業種区分	①物価高騰・円安の影響 ②人手不足・人材確保の動向 ③デジタル化・業務の効率化に向けた取組み ④海外市場の動向と輸出入環境の変化 ⑤その他
楽器(製)	①物価高騰の影響は未だに大きく、仕入の額を販売単価にそのまま反映しづらく大変
鑄材(卸)	①物価高騰・円安の影響などで工作機、木工機の製造業界が低迷している
税理士	①仕入価格高騰による限界利益率の圧迫
玩具(販)	①原材料費高騰により各社値上がり激しい
梱包資材(卸)	①為替の変動が激しく目測が立たない。
祭用品(小)	②人手不足で物が作れない。
社会保険労務士	②育休後に職場復帰し易いよう法改正されたこともあって育休申請は増えている。だが両親共に育休取得するパパママ育休プラスにはなかなか至らないようだ。
ディスプレイ業	②人材不足や売上低迷の中、現スタッフのモチベーションも低下しているので、苦しいが4月より賃上げをした。
社会保険労務士	②賃上げに対し、業界の今後の見通しが不透明過ぎるため、組合からの要求通りの回答ができていない。
警備業	③警備業界でも、関係省庁への申請等もデジタル化が進み、また、法定教育等もeラーニングを活用したものとなりつつあります。業務の効率化が進んでいます。
茶(加・小)	④関税にも負けず、海外市場に未だ抹茶がとても需要があり、緑茶生産者が抹茶原料の製造も取り組む動きが増す。
木製品(製)	④米国輸出時に州によっては荷受人からの今まで無かった提出書類を求められる事が多くなった。
事業協同組合(鉄)	④トランプ関税による関税不況を警戒して企業、家計の景況感が悪化し消費の減速リスクも高まりつつある。設備投資も様子見姿勢である。
事業協同組合(ものづくり)	④米中の関税問題が不透明な中、日本についても半導体関連の影響により、生産調整があるのではないかとの情報がある。
税理士	⑤大型連休を利用して休みも含めて自らの経営を見直すとの意見があった。

以上

# 浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2025年5月期調査結果（2025年7月発表分）

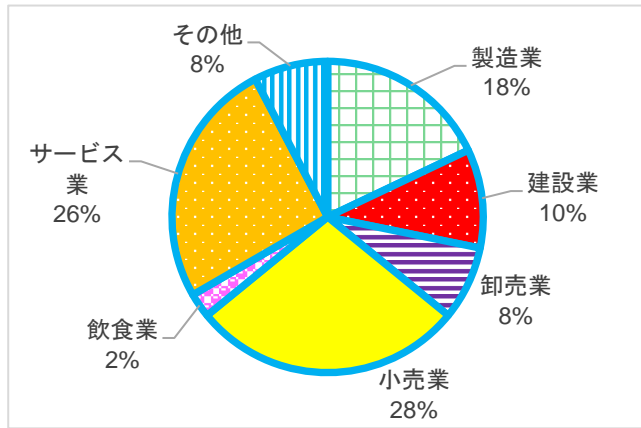
浜松商工会議所

## 調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2025年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は39名（回答率は60.9%）

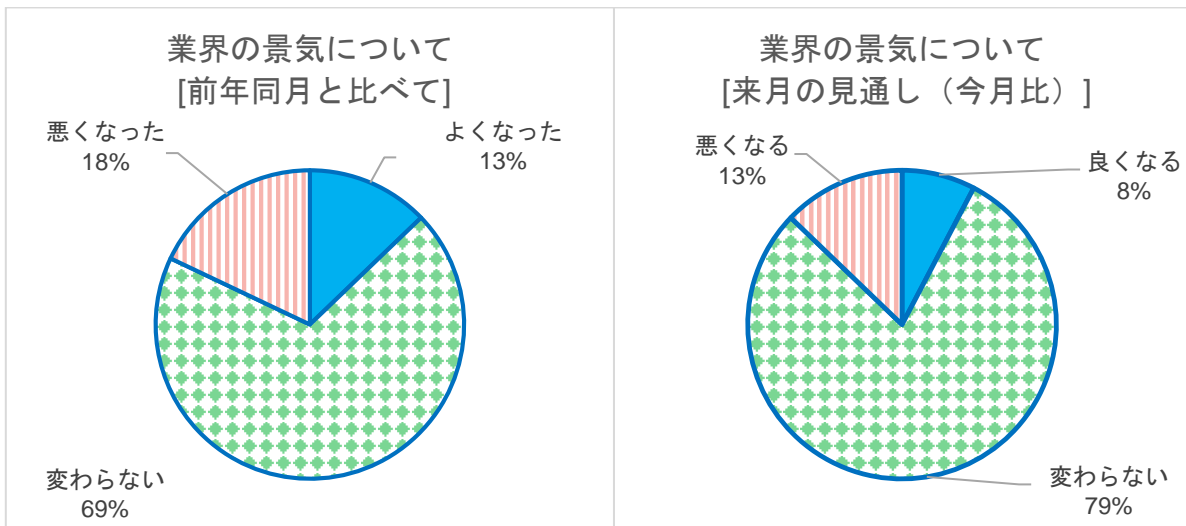
業種	回答者数	構成比
製造業	7	17.9%
建設業	4	10.3%
卸売業	3	7.7%
小売業	11	28.2%
飲食業	1	2.6%
サービス業	10	25.6%
その他	3	7.7%
計	39	100%



## 調査結果のポイント

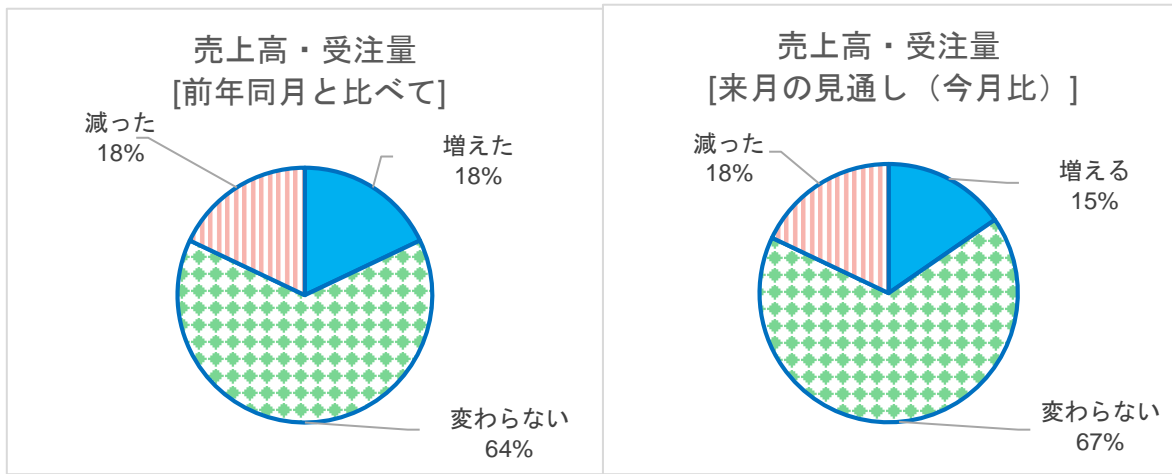
### <景況>

- ・2025年5月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が12.8%、「変わらない」が69.2%、「悪くなった」が17.9%となりました。
- ・2025年6月以降の見通しについて、前月と比較して、「よくなる」が7.7%、「変わらない」が79.5%、「悪くなる」が12.8%となりました。



<売上高・受注>

- ・2025年5月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」が17.9%、「変わらない」が64.1%、「減った」が17.9%となりました。
- ・2025年6月以降の見通しについて、前月と比較して、「増える」が15.4%、「変わらない」が66.7%、「減る」が17.9%となりました。



【景気動向DI (毎月版)】

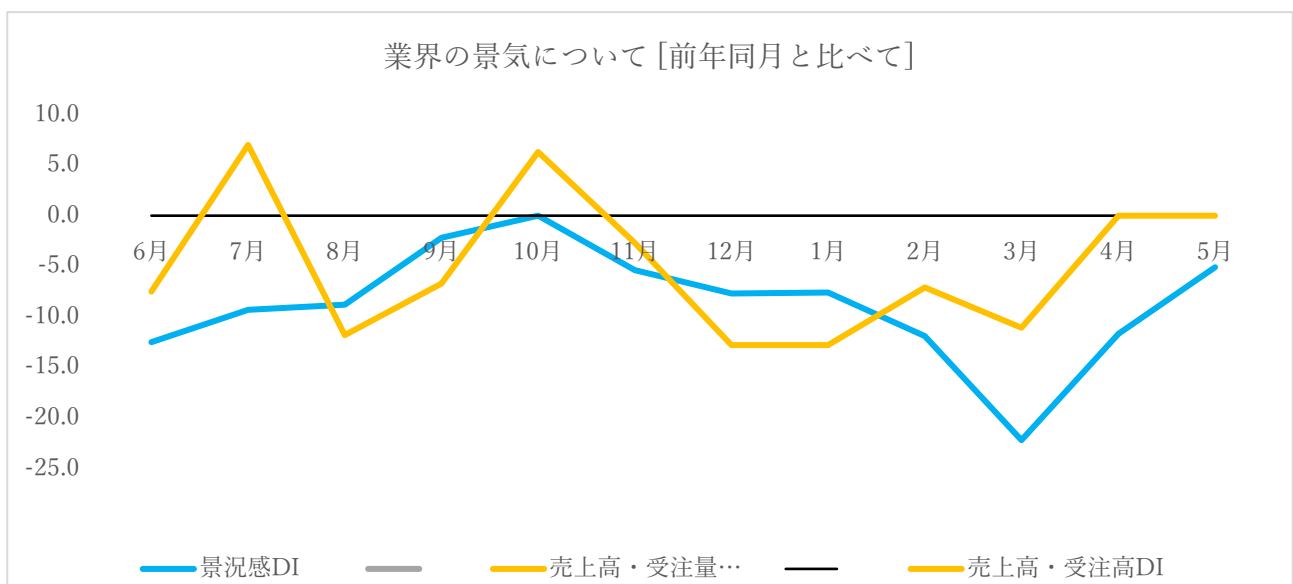
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

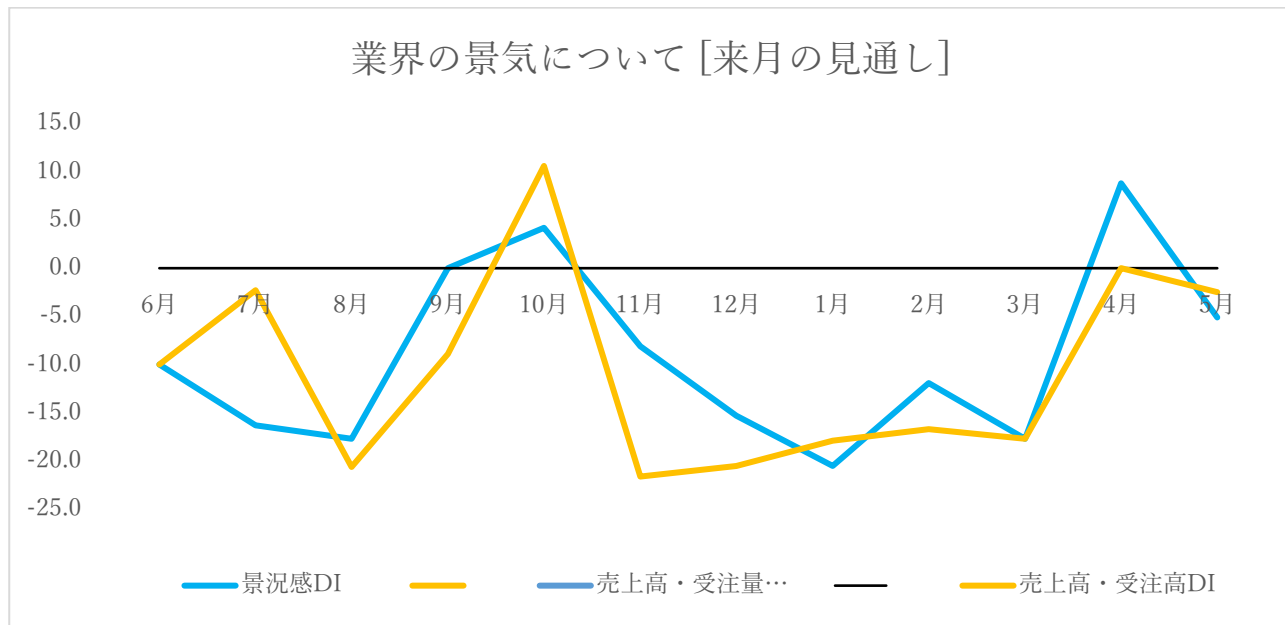
⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2024年6月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
景況感DI	-12.5	-9.3	-8.8	-2.2	0.0	-5.4	-7.7	-7.6	-11.9	-22.2	-11.7	-5.1
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
売上高・受注高DI	-7.5	7.0	-11.8	-6.7	6.3	-2.7	-12.8	-12.8	-7.1	-11.1	0.0	0.0

2024年6月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について [来月の見通し(今月比)]												
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
景況感DI	-10.0	-16.3	-17.7	0.0	4.2	-8.1	-15.3	-20.5	-11.9	-17.7	8.8	-5.1
売上高・受注量 [来月の見通し(今月比)]												
売上高・受注高DI	-10.0	-2.3	-20.6	-8.9	10.6	-21.6	-20.5	-17.9	-16.7	-17.7	0.0	-2.5

#### 【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
鉄骨工事業	2026年度に向けて仕事量が増えるといわれていたが、実際は案件延期や中止の話が多く低調になる予想に変わってきている。
税理士	納期に対する人材投与が働き方改革などで厳しい。
祭用品(小)	コロナ明け後、売上はもとに戻りつつあるが、人手不足で商品が作れない。
社会保険労務士	電子申請が義務化される手続きや事業所は増えているのに、その申請システムは使い難いところが多く苦勞している。もっと AI を組み込んでサポートできないものか。
事業協同組合(石油)	5月のガソリン販売数量は前年に比べ減少した。諸物価高騰による買い控えによるものと思われる。なお、当月より政府の補助金は定額引き下げ措置（最大10円）に移行したが、旧暫定税率廃止等の今後の動向が懸念される。
事業協同組合(機械)	米国との関税協議がなかなか進展しない、対策とか対応とか言われるだけで何の対処もされていない現実がある。
事業協同組合(鉄)	一連のこめ問題を含め食料品の価格も高騰し実質賃金は目減りしている。工作機械もニーズはあるがトランプ政権の政策如何で設備投資も様子見姿勢である。
梱包資材(卸)	各社人件費を上げる為の価格改定が行われユーザーとの価格の擦り合わせ交渉に難儀している。
建築設計業	浜松市、静岡県の発注は新年度になって、準備が整ったこれから動き出すところ。浜松市の設計案件では学校関係の大規模改修が複数発注されており、次年度以降に工事発注されると思われる。

木製家具(製)	県内の仕事が減っているが、県外の受注がふえているところもある。
物流運搬設備(製)	国内生産の減少からか、全体としてもパイが減っているように感じています。
家庭電化製品(販)	熱中症の対策が、義務化されたので、エアコン取付等の屋外の工事には、暑さ対策が必要になった。
業種区分	①物価高騰・円安の影響 ②人手不足・人材確保の動向 ③デジタル化・業務の効率化に向けた取組み ④海外市場の動向と輸出入環境の変化 ⑤その他
宝飾(小)	①金・プラチナ価格の高騰
税理士	①価格転嫁が元請・仕入れ先とうまくいっていないようだ。売上減少が常態化しつつある。
社会保険労務士	①元請事業所への価格交渉のために、詳細なエビデンス作成を求められることが多くなってきている。
楽器(製)	①物価高騰の影響等で、今まで部品を仕入れてきた小さな工場の廃業が増えてきており細かい部品の調達が難しくなっている
梱包資材(卸)	①一部を除き物価高騰や円安の影響などは落ち着き始めた感触
茶(加・小)	①緑茶は、生産量減と抹茶のニーズ急上昇から低価格帯の相場が過去にないほど上昇する。従来の市場とは異なる流通網、商社参入もあり農家は喜ぶ。
木製家具(製)	①材料費が今月からあがると予告されていたので、影響は心配。他の食材もまた沢山の品目が値上がりする話があるので、生活にも支障がありそう。
税理士	②募集しても人材が集まらない
祭用品(小)	②働き手不足が問題。
社会保険労務士	③これまで年金事務所から提供される被保険者データはCD媒体で郵送されていたが、3月で終了したため、新たに電子送達という手段で受け取れるよう手続きを行った。データは来月の算定基礎届で使用する。
事業協同組合(鉄)	④アメリカ合衆国のトランプ政権による関税問題に世界各国が振り回されている。株価にはあまり影響ないイメージであるが不透明感が強い。
事業協同組合(ものづくり)	④米国の関税政策が間接的に影響し、今後の受注が減少予想。
税理士	④トランプ関税等により極めて予測不明。

以上

# 浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2025年6月期調査結果（2025年8月発表分）

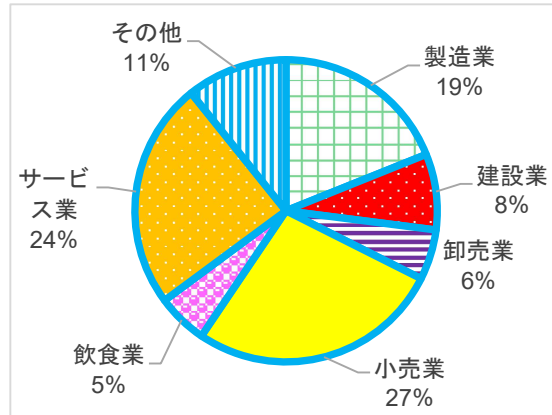
浜松商工会議所

## 調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2025年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は37名（回答率は57.8%）

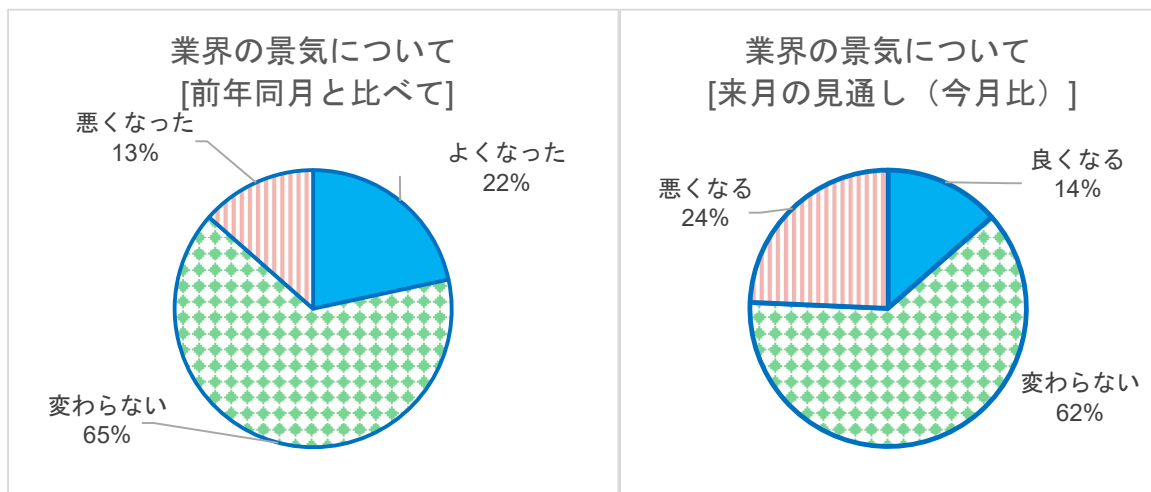
業種	回答者数	構成比
製造業	7	18.9%
建設業	3	8.1%
卸売業	2	5.4%
小売業	10	27.0%
飲食業	2	5.4%
サービス業	9	24.3%
その他	4	10.8%
計	37	100%



## 調査結果のポイント

### <景況>

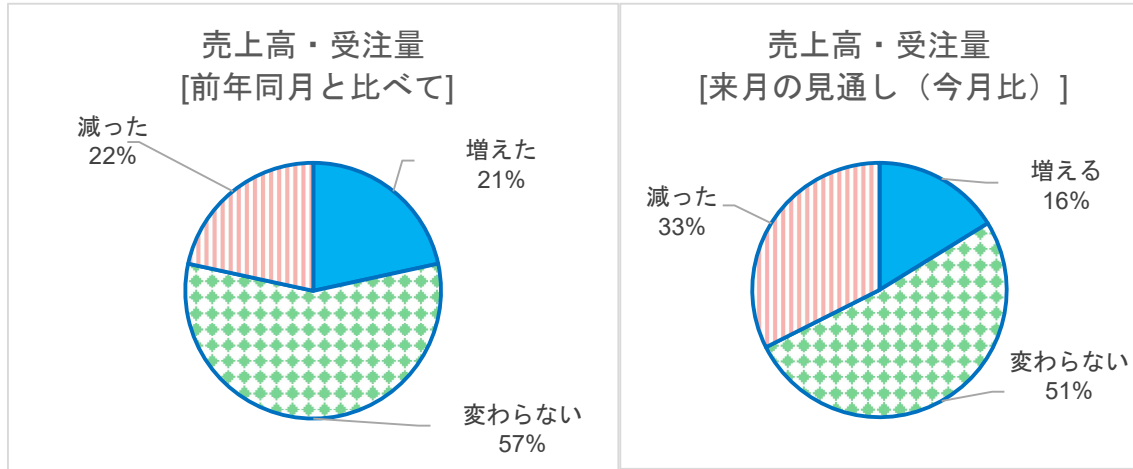
- ・2025年6月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が21.6%、「変わらない」が64.9%、「悪くなった」が13.5%となりました。
- ・2025年7月以降の見通しについて、前月と比較して、「よくなる」が13.5%、「変わらない」が62.2%、「悪くなる」が24.3%となりました。



<売上高・受注>

・2025年6月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」が21.6%、「変わらない」が56.8%、「減った」が21.6%となりました。

・2025年7月以降の見通しについて、前月と比較して、「増える」が16.2%、「変わらない」が51.4%、「減る」が32.4%となりました。



【景気動向DI (毎月版)】

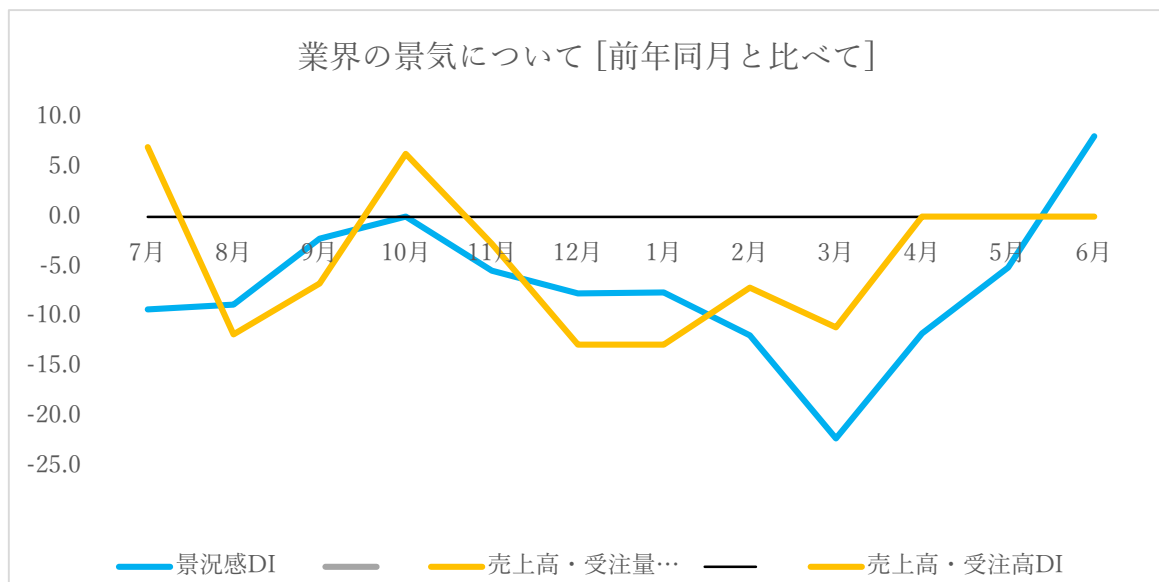
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

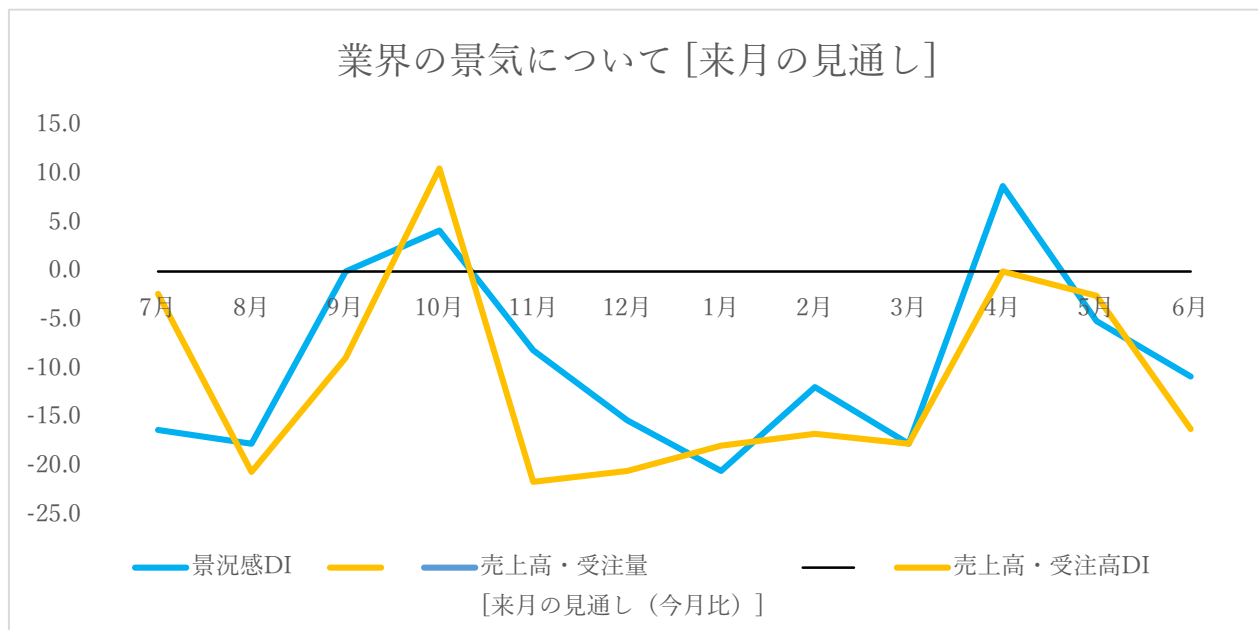
⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2024年7月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
景況感DI	-9.3	-8.8	-2.2	0.0	-5.4	-7.7	-7.6	-11.9	-22.2	-11.7	-5.1	8.1
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高・受注高DI	7.0	-11.8	-6.7	6.3	-2.7	-12.8	-12.8	-7.1	-11.1	0.0	0.0	0.0

2024年7月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について [来月の見通し(今月比)]												
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
景況感DI	-16.3	-17.7	0.0	4.2	-8.1	-15.3	-20.5	-11.9	-17.7	8.8	-5.1	-10.8
売上高・受注量 [来月の見通し(今月比)]												
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高・受注高DI	-2.3	-20.6	-8.9	10.6	-21.6	-20.5	-17.9	-16.7	-17.7	0.0	-2.5	-16.2

#### 【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
鑄材(卸)	製造機械業界が不況。
警備業	D Xの社会的な取組スピードに警備業界は追いついていない。
社会保険労務士	自動車整備・板金塗装はある程度安定しているが、自動車販売の見通しとして、新車・中古車共に販売台数が多少減少傾向にある。
楽器(製)	暑さのせいか人の流れがあまりよくない感じがする。夏に向けていい方向にむかってくれれば良い。
社会保険労務士	労働保険事務組合の会員数が減るばかり。維持が難しくなりつつある。
ディスプレイ業	7月8月と業務が薄く、やはりこの気候のせいか、夏季の屋外イベントを見送っている傾向が見られる
木製家具(製)	暑さの為、現場仕事では当日体温・体調管理、熱中症対策が当たり前になっていて、仕事の進み具合にも影響している。
家庭電化製品(販)	今年のエアコン商戦、売れ筋商品の品切れが少ない。お掃除ロボット機能付きの注文が多い。
事業協同組合(青果)	毎日の暑さで作物の不良が心配である。
事業協同組合(石油)	6月のガソリン販売量は、前年に比べやや減少した。節約志向が高まっており、中東の地政学リスクに伴う原油高も懸念される。政府による補助金は定額引き下げに、激変緩和予防措置が加わった(8月末までの予定)。旧暫定税率廃止等の今後の動向も注視していく必要がある。
事業協同組合(鉄)	工作機械の下請け企業は問い合わせも多く、今後の受注増加に期待がもてる。

事業協同組合(機械)	自動車関連のアメリカ関税により全体的な売上減少が懸念される。当然中小企業への影響も有るので支援も必要だが、関税協議が難航している分先行きに対する懸念が大きい。
梱包資材(卸)	物売りの限界を感じている。付加価値をどれだけ付けて販売できるかが今後更にポイントになる。
業種区分	①物価高騰・円安の影響 ②人手不足・人材確保の動向 ③デジタル化・業務の効率化に向けた取組み ④海外市場の動向と輸出入環境の変化 ⑤その他
木製家具(製)	①今月からまた材料の値上がりがあった
税理士	①経費節減のコスト管理が思うように進まない。値上げ傾向が止まっていない。
玩具(販)	①物価高騰と関税の先行き不安を背景に、来月も玩具の購入控えは続くと思われる。特に夏休み等で旅費等の出費もあるため、趣味性の高い高額な玩具は、生活必需品への支出を優先する傾向が強まると思われる。
ディスプレイ業	②社内的な人材は補われているが、突発的な人手のいる業務が発生した際に、外注先が人手不足で対応できないケースが増えてきた。
木製品(製)	②職人の高齢化により新規採用を考えているが、国内は人手不足のため採用が難しい。
警備業	③警備業界内でもDXが進み、また発注者・元請会社との間でも契約ごと等でDXが加速しています。そのDXに対応できない会社は契約ができず、売上を上げることが難しくなっています。
社会保険労務士	③Microsoft Lists で進捗状況を共有できるよう試行中。顧問先データベースとの連携もできるようにしたい。
事業協同組合(機械)	④自動車関連業種のトランプ関税の影響についての見定めが難しい状況にある。
事業協同組合(鉄)	④トランプ関税の動向がまったくわからない。鉄工団地協同組合は自動車関連の下請け企業が多く心配である。
電気めっき業	④アメリカの関税による生産数の減少が懸念される。
茶(加・小)	⑤飲食の売上がここ数ヶ月安定感。お客様の車のナンバーが市街県外 20%。

以上

# 浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2025年7月期調査結果（2025年9月発表分）

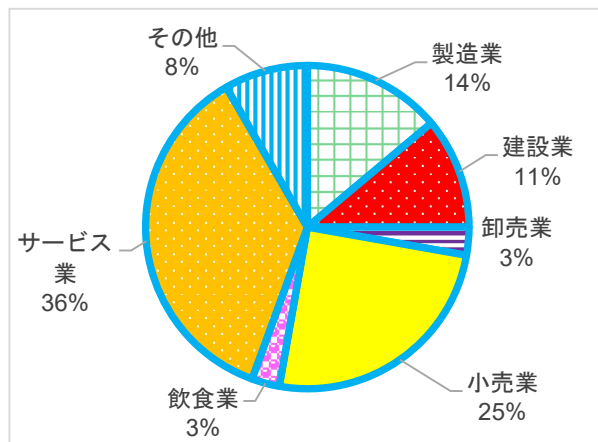
浜松商工会議所

## 調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2025年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は36名（回答率は56.3%）

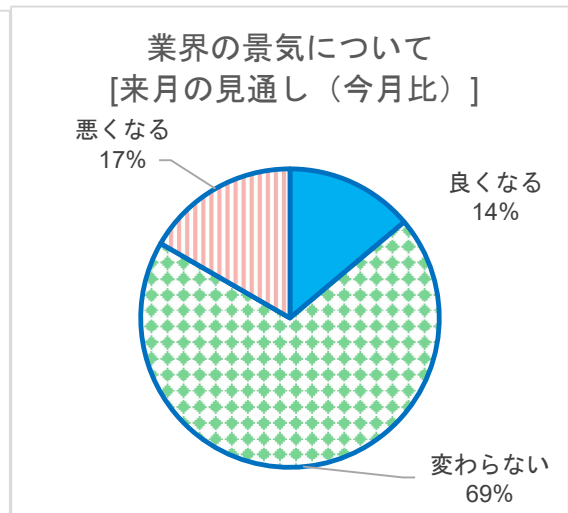
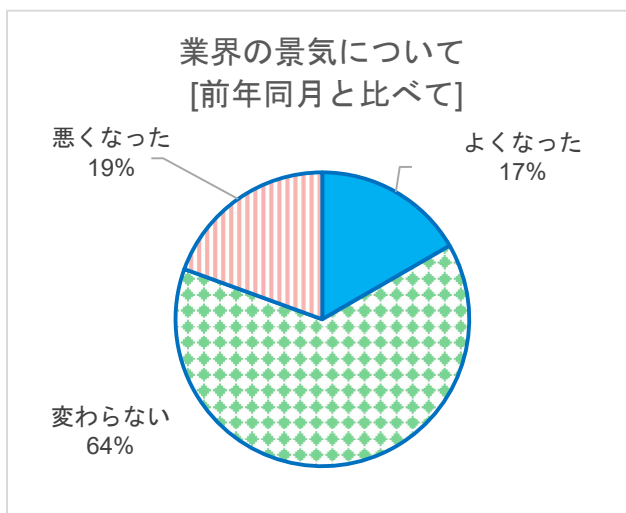
業種	回答者数	構成比
製造業	5	13.9%
建設業	4	11.1%
卸売業	1	2.8%
小売業	9	25.0%
飲食業	1	2.8%
サービス業	13	36.1%
その他	3	8.3%
計	36	100%



## 調査結果のポイント

### <景況>

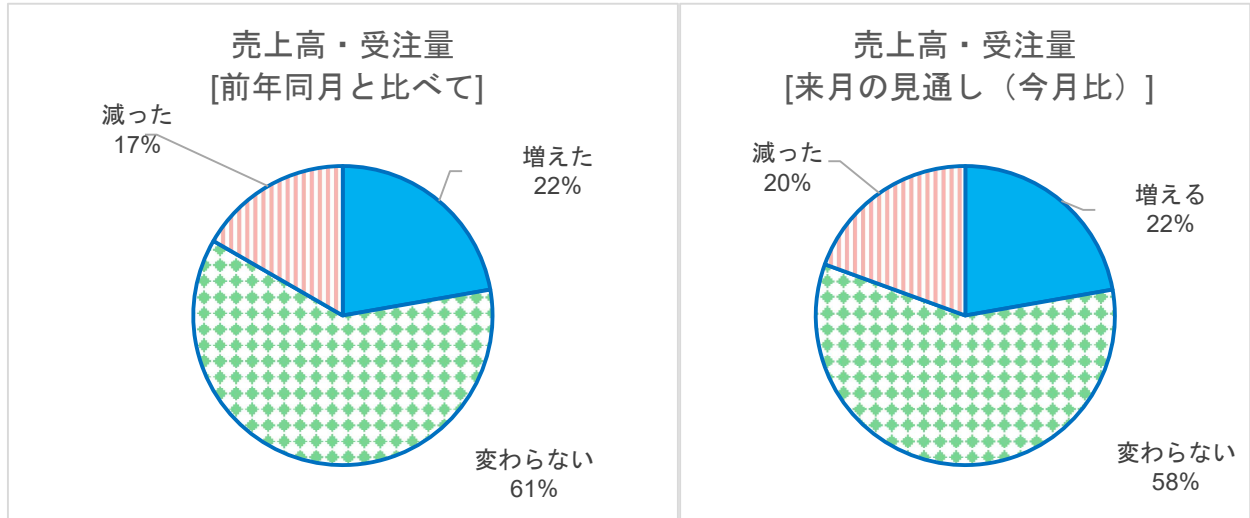
- ・2025年7月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が16.7%、「変わらない」が63.9%、「悪くなった」が19.4%となりました。
- ・2025年8月以降の見通しについて、前月と比較して、「よくなる」が13.9%、「変わらない」が69.4%、「悪くなる」が16.7%となりました。



<売上高・受注>

・2025年7月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」が22.2%、「変わらない」が61.1%、「減った」が16.7%となりました。

・2025年8月以降の見通しについて、前月と比較して、「増える」が22.2%、「変わらない」が58.3%、「減る」が19.4%となりました。



【景気動向DI (毎月版)】

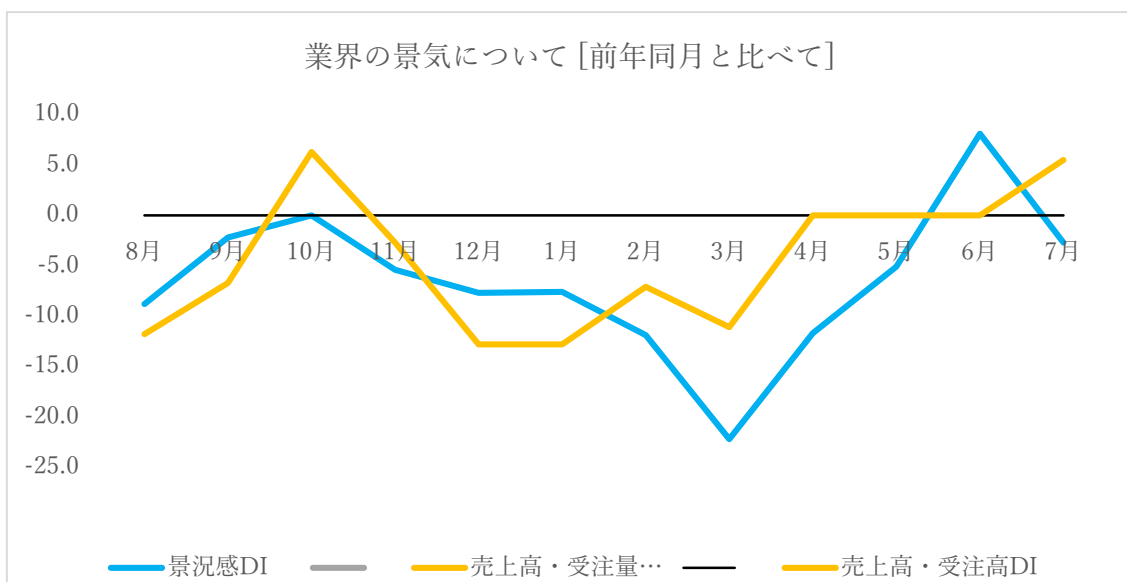
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

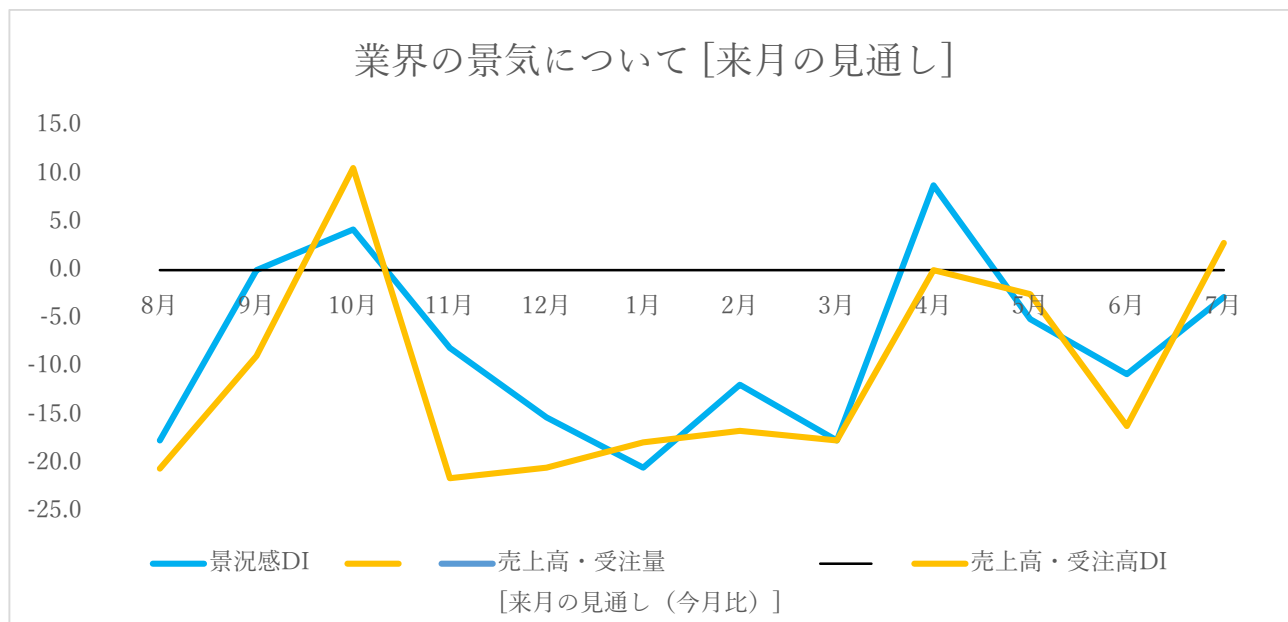
⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2024年8月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
景況感DI	-8.8	-2.2	0.0	-5.4	-7.7	-7.6	-11.9	-22.2	-11.7	-5.1	8.1	-2.7
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
売上高・受注高DI	-11.8	-6.7	6.3	-2.7	-12.8	-12.8	-7.1	-11.1	0.0	0.0	0.0	5.5

2024年7月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景況について [来月の見通し(今月比)]		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
景況感DI		-17.7	0.0	4.2	-8.1	-15.3	-20.5	-11.9	-17.7	8.8	-5.1	-10.8	-2.8
売上高・受注量 [来月の見通し(今月比)]		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高・受注高DI		-20.6	-8.9	10.6	-21.6	-20.5	-17.9	-16.7	-17.7	0.0	-2.5	-16.2	2.8

#### 【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
税理士	事務所を取り巻く環境も高齢化し、事業の承継、事業の廃業等に直面している状況。
警備業	警備業では、静岡県内に他県からの参入業者が著しく増えている。
社会保険労務士	このままだと減税より先に最低賃金の大幅アップを迎えそう。昨年50円もアップしたのだから、今年は据え置きでもいいじゃないかとさえる。
サッシ・ドア(製)	元請はギリギリまで発注を渋りがち。ここ三十年以上この体制は変わらない。むしろその傾向は顕著になっている。
木製家具(製)	仕事量は増えているが暑さで、外の作業は大変で、8月は夏休みを多く取るメーカーが増え、その間は止まざる負えない状況にあります
家庭電化製品(販)	家電製品の梱包材は、発泡スチロールが多いので、処分代かかる。以前に比べて、ダンボールの使用は、増えてきたが、まだ少ない。
事業協同組合(石油)	7月のガソリン販売量は、前年に比べやや減少した。梅雨明けは早まったものの、猛暑による外出控えが影響していると思われる。現在議論されているガソリンの旧暫定税率廃止等の今後の動向を注視していく必要がある。
電気めっき業	関税の影響で車の生産台数が減少している。
梱包資材(卸)	小さな規模の企業程、淘汰されていく流れをひしひしと感じる。
業種区分	①物価高騰・円安の影響 ②人手不足・人材確保の動向 ③デジタル化・業務の効率化に向けた取組み ④海外市場の動向と輸出入環境の変化 ⑤その他
木製品(製)	①米国への個人輸入商品に対する800ドル以下の免税が撤廃になるとの発表があり、その影響が懸念される。
居酒屋	①物価高が止まらず、仕入額が増えて非常に厳しい。

玩具(販)	①物価高騰により販売価格が上昇している。8月は外出が増えるため、例年おもちゃの購入は減少する傾向にあるが、今年は家計を圧迫する状況が続いていることもあり、さらに厳しい結果となった。
税理士	①仕入れコストは上がっているが、売値をいくら上げようか、また社員への給料もいつから上げようか悩んでいる人が多い。
梱包資材(卸)	①物価高騰・円安の影響②人材不足等による賃上げの影響⑤トランプの影響、など様々な要因にて仕入先メーカー、製造業の停滞などにより全体的に売上減、利益率低下となっている
税理士	②最低賃金の上昇による人件費の増加が負担増
警備業	②警備業界内で求人にかける経費に二極化が顕著に表れてきた。
社会保険労務士	③ChatGPTを活用し、非生産性業務の効率化を検討し始めた。ChatGPTの当初からすると、広範囲な活用を検討できると思われる。活用方法によって、セキュリティの面でも課題をクリアできそうだ。
社会保険労務士	③マイナポータルの国家資格登録にてマイナ社労士証を取得した。今すぐ何かに使えるわけではないが、デジタル化のアピールにはなるかもしれない。
サッシ・ドア(製)	④関税決定したからか、輸送機系の設備仕事が急激に増えた。仕事がないよりはいいが、弊社のような小規模事業所は対応しきれない。実際、数件納期に間に合いそうにない為断った。数カ月前の受注なら、なんの問題もなかったはず。
税理士	④トランプ関税についても流動的な要素が多く、不安は尽きない。
事業協同組合(機械)	④自動車関連の米国関税が一応15%で決着したが、今後どのように影響が出るのか、今後を注視している。
事業協同組合(鉄)	④米国トランプ政権との関税交渉が合意したが、国内の成長は不確実な情勢である。国内の食品価格の高騰は続いており先行き不安な状況である。

以上

# 浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2025年8月期調査結果（2025年10月発表分）

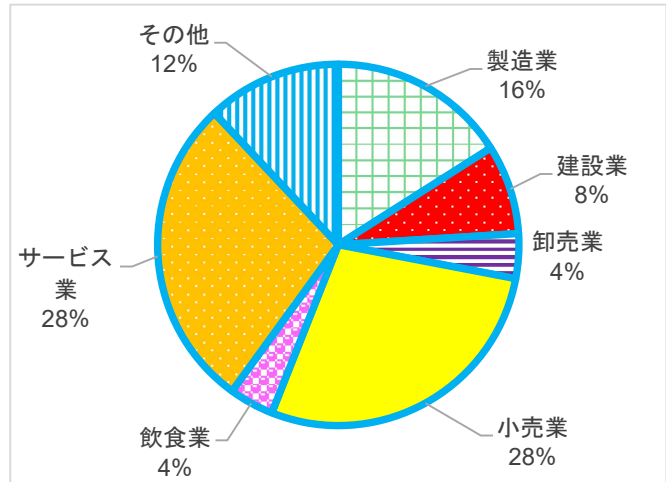
浜松商工会議所

## 調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2025年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は25名（回答率は39.0%）

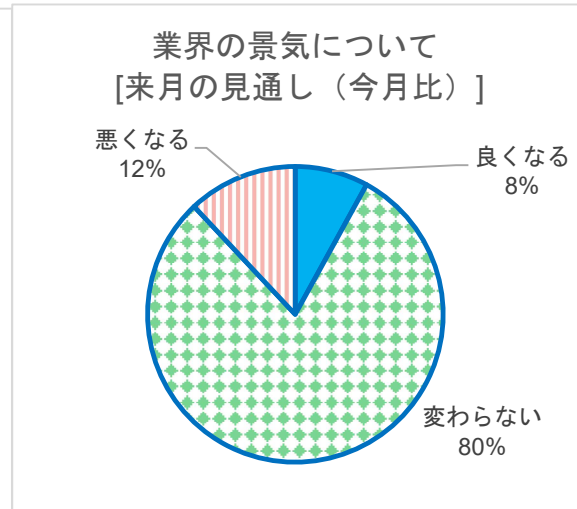
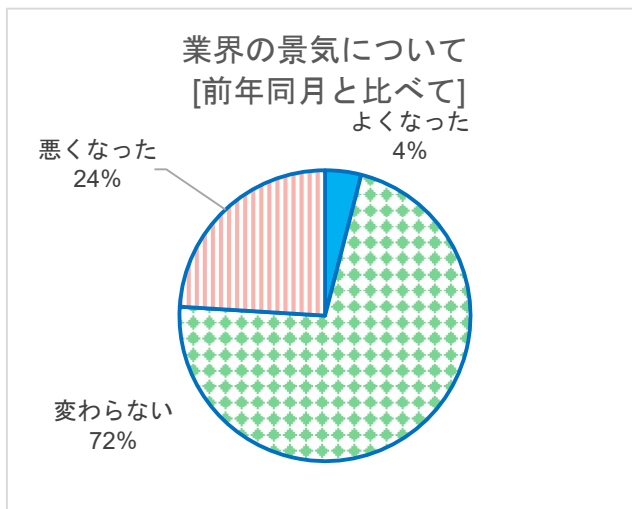
業種	回答者数	構成比
製造業	4	16.0%
建設業	2	8.0%
卸売業	1	4.0%
小売業	7	28.0%
飲食業	1	4.0%
サービス業	7	28.0%
その他	3	12.0%
計	25	100%



## 調査結果のポイント

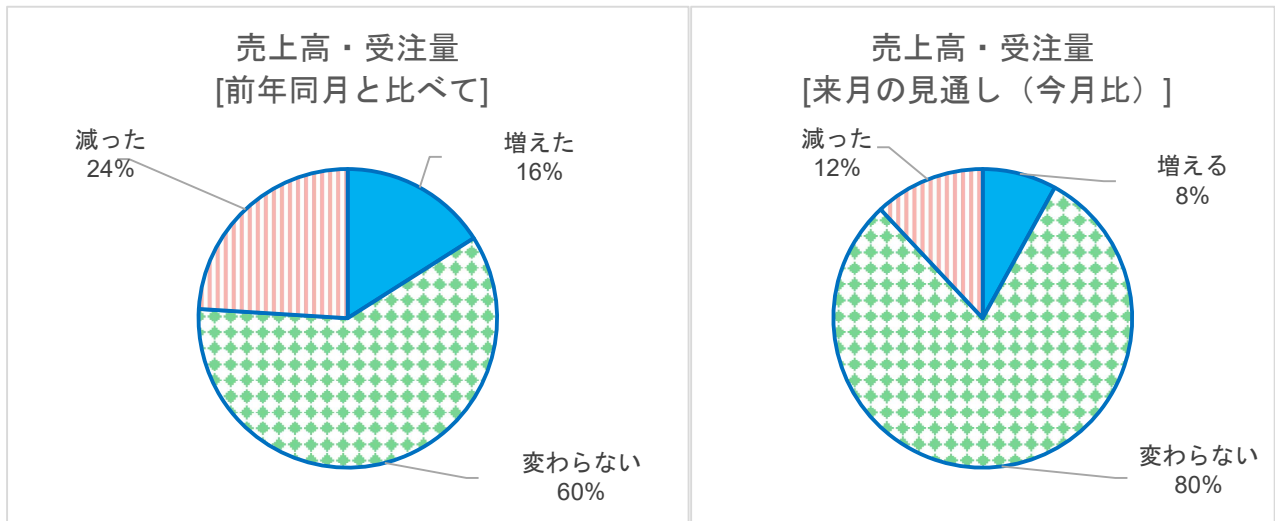
### <景況>

- ・2025年8月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が4.0%、「変わらない」が72.0%、「悪くなった」が24.0%となりました。
- ・2025年9月以降の見通しについて、前月と比較して、「よくなる」が8.0%、「変わらない」が80.0%、「悪くなる」が12.0%となりました。



<売上高・受注>

- ・2025年8月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」が16.0%、「変わらない」が60.0%、「減った」が24.0%となりました。
- ・2025年9月以降の見通しについて、前月と比較して、「増える」が8.0%、「変わらない」が80.0%、「減る」が12.0%となりました。



【景気動向DI (毎月版)】

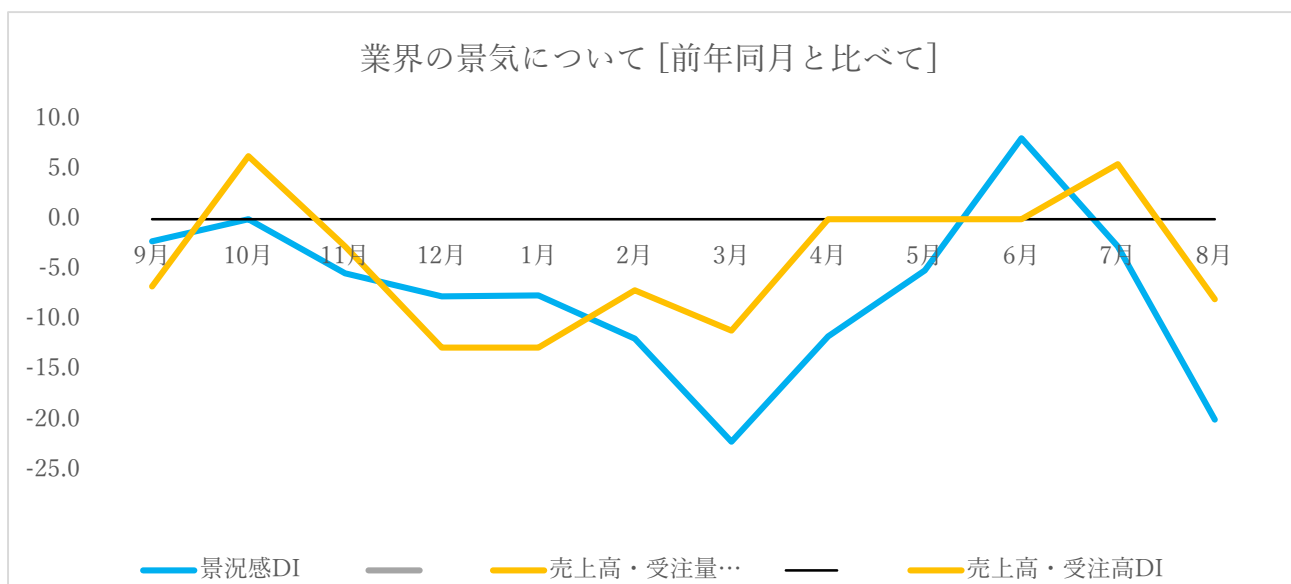
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

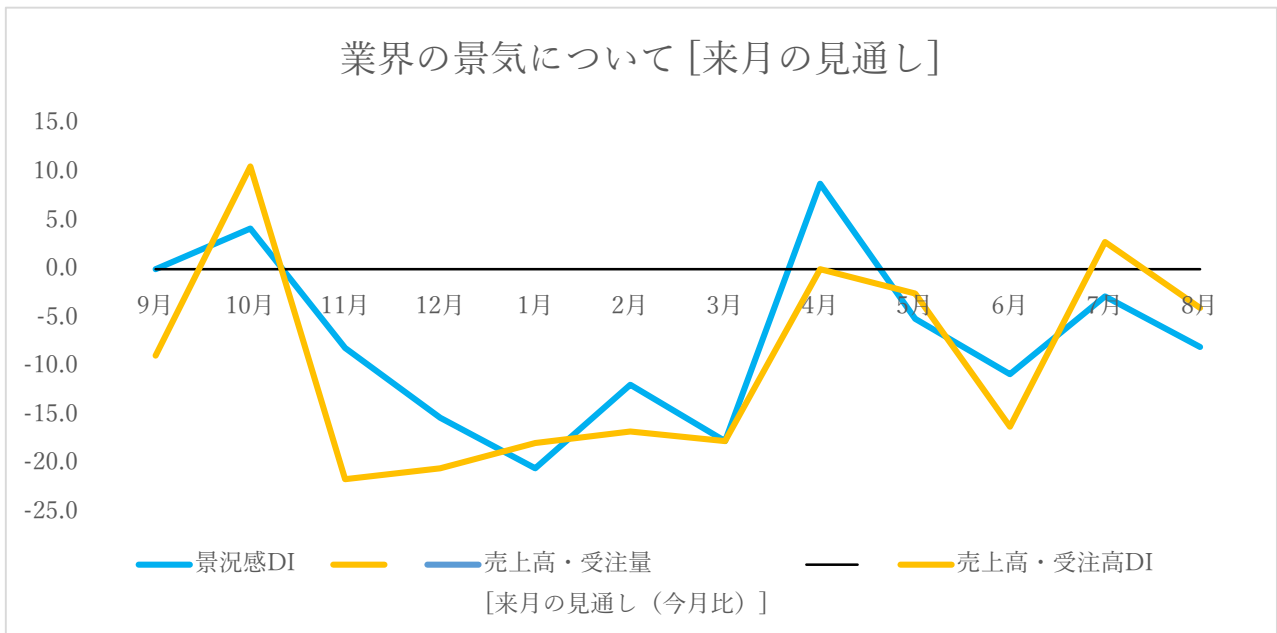
⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2024年9月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
景況感DI	-2.2	0.0	-5.4	-7.7	-7.6	-11.9	-22.2	-11.7	-5.1	8.1	-2.7	-20.0
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
売上高・受注高DI	-6.7	6.3	-2.7	-12.8	-12.8	-7.1	-11.1	0.0	0.0	0.0	5.5	-8.0

2024年8月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について  
[来月の見通し(今月比)]

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
景況感DI	0.0	4.2	-8.1	-15.3	-20.5	-11.9	-17.7	8.8	-5.1	-10.8	-2.8	-8.0

売上高・受注量  
[来月の見通し(今月比)]

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高・受注高DI	-8.9	10.6	-21.6	-20.5	-17.9	-16.7	-17.7	0.0	-2.5	-16.2	2.8	-4.0

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
税理士	人手不足、なり手不足。
警備業	警備業界では、10月1日からの最低賃金アップに向けて、すでに請け負っている元請会社との請負金額の交渉に取り組みが始まった。
社会保険労務士	windows10のサポート終了が迫るので、買い替えるか？それとも1年延長できるのか？まだどうするか決められない。
サッシ・ドア(製)	弊社は建設業だが土地柄車産業に影響される。スズキやトヨタの工場設備などの仕事が多い。関税などの影響で仕事が急激に増えたり、逆に飛んだりする。もっと長期的な計画性のある受注が理想。
家庭電化製品(販)	蛍光灯が2027年に生産終了についてのお客様の理解は進んで来ましたが、エアコンの2027年問題については、お客様も販売店も理解が進んでいない。
事業協同組合(石油)	8月のガソリン販売量は、前年に比べやや減少した。前年の南海トラフ地震臨時情報による仮需の反動減が主因。現在議論されているガソリンの旧暫定税率廃止等の今後の動向を注視していく必要がある。
事業協同組合(鉄)	異常気象(高温)が続いており、工場の屋根、外壁、エアコン対策も費用を含め大変である。従業員の健康問題も含めて。
事業協同組合(ものづくり)	EV自動車市場も他国との競争が激化してきていることから、今まで以上にEV化が進む可能性があり、その対応をしていかなければならない。
梱包資材(卸)	仕入先の人材不足が影響し、スピーディーな回答を受けられず受注を逃すことがある。自社だけではなく仕入先の人材不足が影響することは想定していなかったので頭を抱えている。

業種区分	①物価高騰・円安の影響 ②人手不足・人材確保の動向 ③デジタル化・業務の効率化に向けた取組み ④海外市場の動向と輸出入環境の変化 ⑤その他
梱包資材(卸)	①物価高騰・円安の影響を強く感じます。
税理士	①物価高騰と人件費高騰が売上に転嫁できない
税理士	①物価高騰により、経営が思うようにならず、廃業した企業が2件出ました。
楽器(製)	①物価高騰はあいかわらずで、いまだに仕入れる度に上がっていく感じでいい状態ではない。
社会保険労務士	②人材不足と従業員の高齢化が大きな課題。従業員の間層に対して、時には引き抜きと思われるケースが散見される。
社会保険労務士	②最低賃金大幅引上げで人手不足・人材確保はより厳しくなるだろう。時期は例年より1月遅らせるようだが、それでどうにかなると言うのか。
警備業	③建設業界の進むデジタル化により、付帯業界の警備業界もデジタル化へ早い取組が求められている。
事業協同組合(機械)	④米国への自動車関税引き下げが実施されたことへの期待感はあるが、実質利益喪失はかわらないため今後の推移を注視している。
事業協同組合(鉄)	④関税問題が今後さらに影響を及ぼす懸念もあり、売上げの不透明感が強い。国内の食料品の値上げが生活費のやりくりにも苦労している。引き続き従業員の人手不足の状態は続いている。
木製品(製)	④トランプ関税によりデミニミス措置が終了したためアメリカの個人消費者からの越境 EC による注文が減少する可能性がある。

以上

# 浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2025年9月期調査結果（2025年11月発表分）

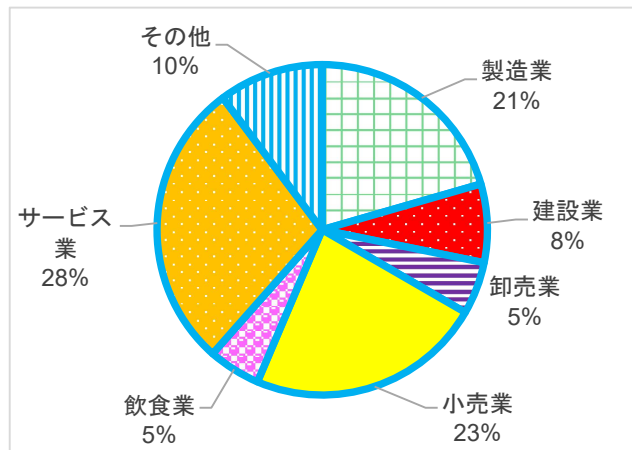
浜松商工会議所

## 調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2025年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は39名（回答率は60.9%）

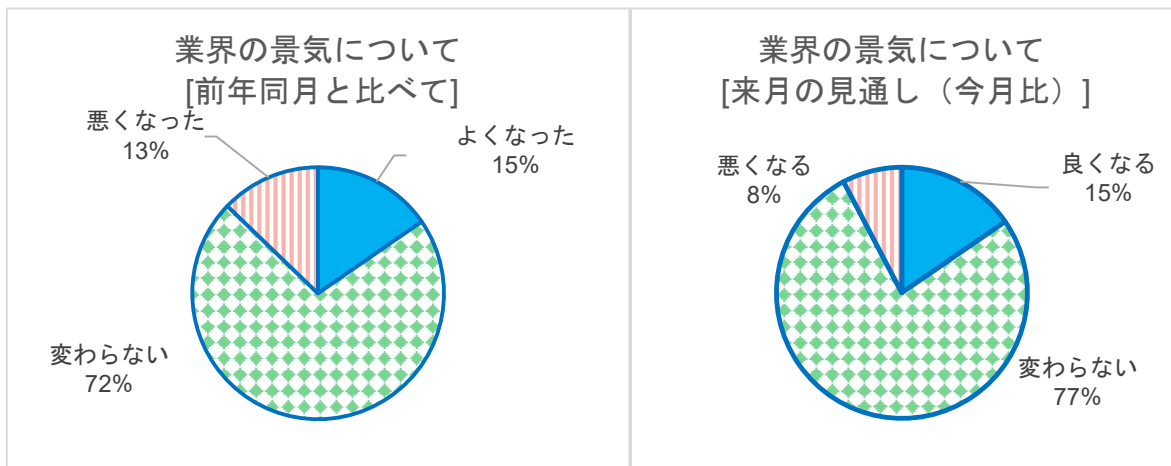
業種	回答者数	構成比
製造業	8	20.5%
建設業	3	7.7%
卸売業	2	5.1%
小売業	9	23.1%
飲食業	2	5.1%
サービス業	11	28.2%
その他	4	10.3%
計	39	100%



## 調査結果のポイント

### <景況>

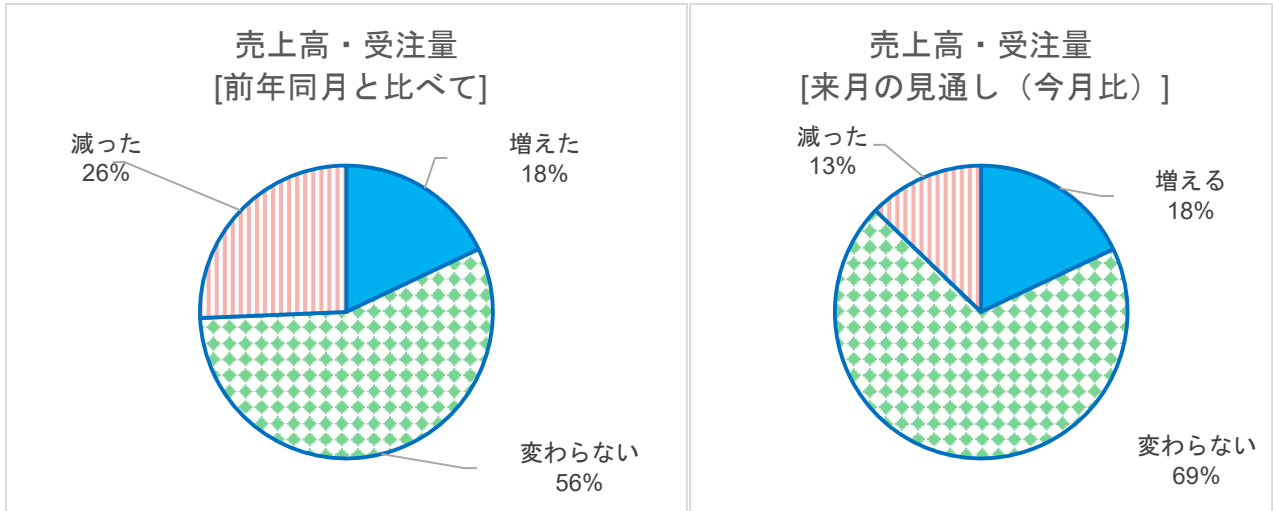
- ・2025年9月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が15.4%、「変わらない」が71.8%、「悪くなった」が12.8%となりました。
- ・2025年10月以降の見通しについて、前月と比較して、「よくなる」が15.4%、「変わらない」が76.9%、「悪くなる」が7.7%となりました。



<売上高・受注>

・2025年9月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」が17.9%、「変わらない」が56.4%、「減った」が25.6%となりました。

・2025年10月以降の見通しについて、前月と比較して、「増える」が17.9%、「変わらない」が69.2%、「減る」が12.8%となりました。



【景気動向DI (毎月版)】

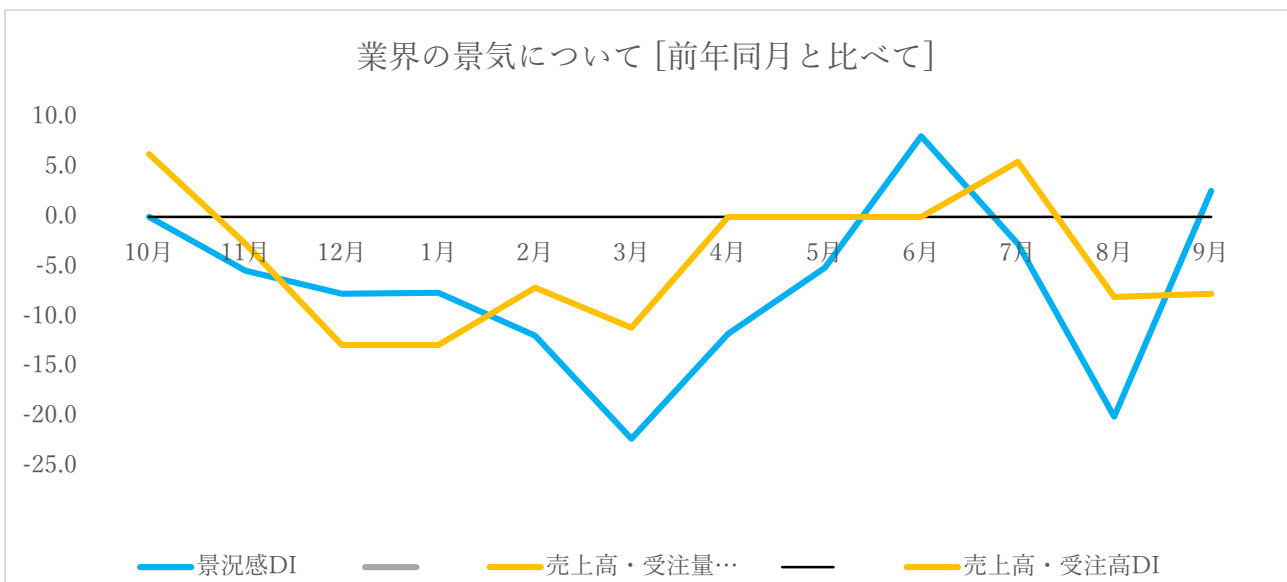
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

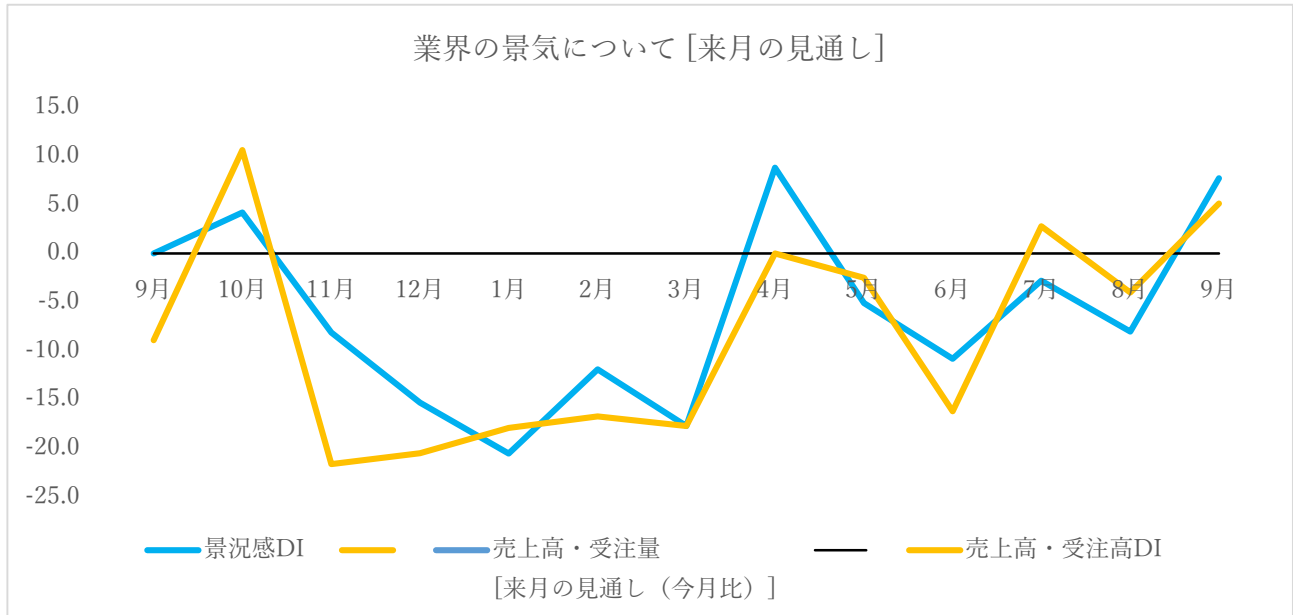
⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2024年10月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
景況感DI	0.0	-5.4	-7.7	-7.6	-11.9	-22.2	-11.7	-5.1	8.1	-2.7	-20.0	2.6
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高・受注高DI	6.3	-2.7	-12.8	-12.8	-7.1	-11.1	0.0	0.0	0.0	5.5	-8.0	-7.7

2024年8月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について [来月の見通し(今月比)]													
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
景況感DI	0.0	4.2	-8.1	-15.3	-20.5	-11.9	-17.7	8.8	-5.1	-10.8	-2.8	-8.0	7.7
売上高・受注量 [来月の見通し(今月比)]													
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高・受注高DI	-8.9	10.6	-21.6	-20.5	-17.9	-16.7	-17.7	0.0	-2.5	-16.2	2.8	-4.0	5.1

【調査対象者のコメント】

業種区分	最近の経営環境で影響を感じたこと
	テーマ例：① 仕入・原材料・エネルギー価格の高騰 ② 人手不足・採用難・従業員の定着 ③ デジタル化やキャッシュレス対応など業務改善への取り組み ④ 消費動向の変化（客数減少・客単価変化・インバウンドなど） ⑤ 取引先・仕入先との関係や支払い条件の変化 ⑥ その他
鋳材(卸)	①木工機、工作機などの製造業界が受注減で低迷している。
宝飾(小)	①金・プラチナの高騰。
事業協同組合(青果)	①組合事業の一貫として、食堂事業(立ち食いそば屋)をやっているが原材料の高騰、利用者の減少などで利益が減少している。
木製家具(製)	①業界の材料費の値上げは止まっているが、食材、光熱費がますます上がっていくので、追いついていけない。
ディスプレイ業	①物価高（仕入れ）と労基法による経営圧迫。
家庭電化製品(販)	①工事材料が高騰しているので工事費の見直しを行った。
事業協同組合(機械)	①トランプ関税も一応の落ち着きを見せた後自民党の高市氏が総裁になった事で景気浮揚政策には期待しているが公明党の政権離脱で自民党総裁が総理大臣になれるかというなんとも土壇場の局面で維新との合意に期待する声も多い、なんにしても物価高に追いつく景気浮揚策、あるいは物価高抑制政策などが有効に機能しないと国民は落ち着いてられない。
事業協同組合(鍍金)	①原価の値上ラッシュが続き価格転嫁に追いついていない。
事業協同組合(石油)	①②原油・為替の動向及び燃料油等への政府の補助金により、ガソリンなどの販売価格が上下し売上に影響が出る。人手不足が長期化している。
事業協同組合(鉄)	①自動車関連の部品製造は売上に限り不透明感が強いがメッキ、塗装関連は受注が増加しつつある。 ②相変わらず人手不足、採用難は喫緊の課題である。

社会保険労務士	②正規社員として即戦力の中途採用求人をしているが、応募者数が伸びない。その為、非正規社員として採用しOJTをしながら定着を図るか、派遣を利用するかを検討している。
税理士	②人手不足で募集しても応募数が少ない。
経営コンサルタント	②中小企業では新卒が全く採用できない。このためやむなく中途採用としている企業が多い。
税理士	②人手不足から年齢・性別をなくして募集しているが、生産性の面でうまくいっていないようである。
木製品(製)	②人手不足がさらに深刻になっている。
注染ゆかた(加)	②人手不足で仕事の依頼があっても受注できないということがおきている。
電気めっき業	②最低賃金の上昇予定
梱包資材(卸)	②賃金上昇に中小企業は付いていけない、逆に付いていけない企業は不必要という国の方針を感じる。生き残る為には企業のスモール化が必要だと強く感じる。
建築設計業	②建設業界では、人手不足の声が継続的に聞かれている
社会保険労務士	③Windows11 導入の際、セキュリティ強化により使い難くなってしまうことが多々ある。
茶(加・小)	④金銭的に外食を控えるような空気感。また、涼しさが弱いので秋限定メニューの反応のいまひとつ。
楽器(製)	④夏頃はインバウンドの需要を少し感じたが、それも最近はあまり感じない。物価上昇により、客単価は上がってきている。
事業協同組合(ものづくり)	④国内の物価高による消費者マインドの低下が危惧される。
居酒屋	④メニューの値段設定を上げた事により、お客様に変化があると思ったが、客数の減少がなく、売り上げが伸びた。
警備業	⑤他県からの同業大手企業が本県に参入し、価格のダンピングが発生し始めた。
税理士	⑥経営環境は、今後も厳しい状況が続くだろう。
建築設計業	建築物の12条点検業務の時期であり、調査と報告書の作成が多くなっている。
業種区分	<b>今期、業績に最も影響を与えたと思う要因は何ですか？</b> (自由記述：需要変動、仕入価格、人材、制度変更など)
木製品(製)	価格の値上げ
電気めっき業	業界最大手企業のM&A
税理士	顧客の高齢化に伴い、事業の縮小、閉鎖等マイナス要因が多くなってきている
経営コンサルタント	材料費の高騰
玩具(販)	仕入価格
茶(加・小)	仕入価格高騰
居酒屋	仕入価格
楽器(製)	仕入価格：物をつくることにおいて仕入れるものすべてが上がっている状況ではなかなか利益を出すことが難しい
事業協同組合(鉄)	仕入価格が落ち着いている。親会社からの値下げ要請等がない
社会保険労務士	事業縮小又は廃業による契約解除が例年よりも多かった
税理士	社内制度の充実
家庭電化製品(販)	需要の変化
木製家具(製)	新規建設物件の減少、今後の生活不安からなる買い控え
集客コンサルタント	人材不足

梱包資材(卸)	人材、投資回収する前に退職となり業績に影響があった
ディスプレイ業	人材不足、人材育成
鋳材(卸)	製造業界の需要変動
鉄骨工事業	前年度に比べて、業界全体としてかなり需要が減っている
事業協同組合(機械)	多様性も必要だが国家運営の安定性も重要と言う事が改めて認識された
事業協同組合(ものづくり)	大手メーカーによる国内生産調整の影響
警備業	賃上げ
事業協同組合(石油)	燃料油等への政府の補助金動向。(ガソリンの旧暫定税率廃止等の動向により、今後大きな影響が想定される)
事業協同組合(鍍金)	物価価格の高騰
注染ゆかた(加)	物価高。値上げのタイミングが難しい
業種区分	今期最も好調だった商品(分野)と、不調だった商品(分野)各一つずつ
鋳材(卸)	好調：金型製造、不調：工作機製造
税理士	不調：住宅営繕分野商品
警備業	好調：人材採用、不調：競合先増
楽器(製)	好調：ホイッスル 浜松以外の地区からの問合せ、受注が増えた 不調：家康君グッズ 最近あまり動かない
社会保険労務士	好調：空調設備事業が好調、不調：建設業
家庭電化製品(販)	好調：リフォーム、不調：テレビ等の映像商品
梱包資材(卸)	好調：猛暑対策商品、梱包資材
事業協同組合(鉄)	好調：メッキ、塗装関連、不透明：自動車部品
事業協同組合	好調：特になし 不調：4輪部品、船外機部品
司法書士	認知症対策の相談が増えてきている。
茶(加・小)	かき氷が驚くほど売れた。次いで冷たいメニューも好調でした。
木製家具(製)	たくさんではないが、県外からの受注があった。小規模店舗の新規、改装がない。
電気めっき業	好調/不調はないが、自動車関係は安定
ディスプレイ業	展示会の業務が動き出したが、反面イベント(お祭りの物)がかなり減った。

以上

# 浜松景気ウォッチャー調査の結果について

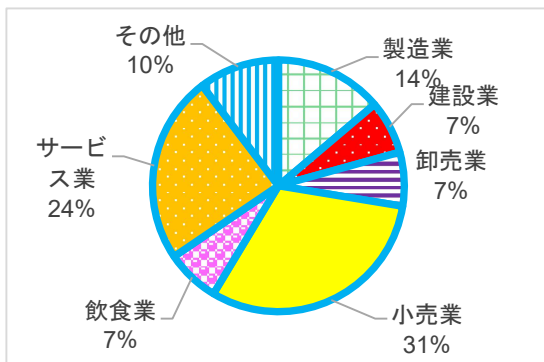
2025年10月期調査結果（2025年12月発表分）

浜松商工会議所

## 調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2025年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

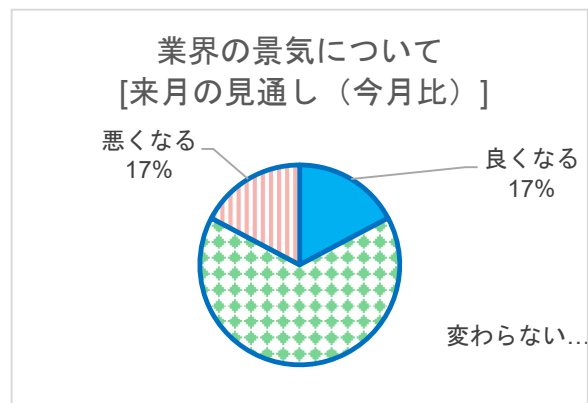
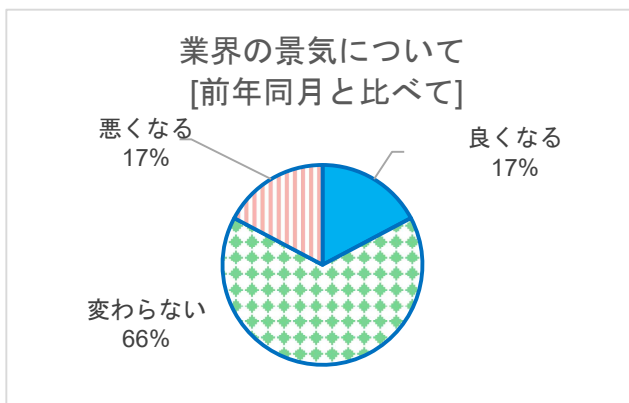
業種	回答者数	構成比
製造業	4	13.8%
建設業	2	6.9%
卸売業	2	6.9%
小売業	9	31.0%
飲食業	2	6.9%
サービス業	7	24.1%
その他	3	10.3%
計	29	100%



## 調査結果のポイント

### <景況>

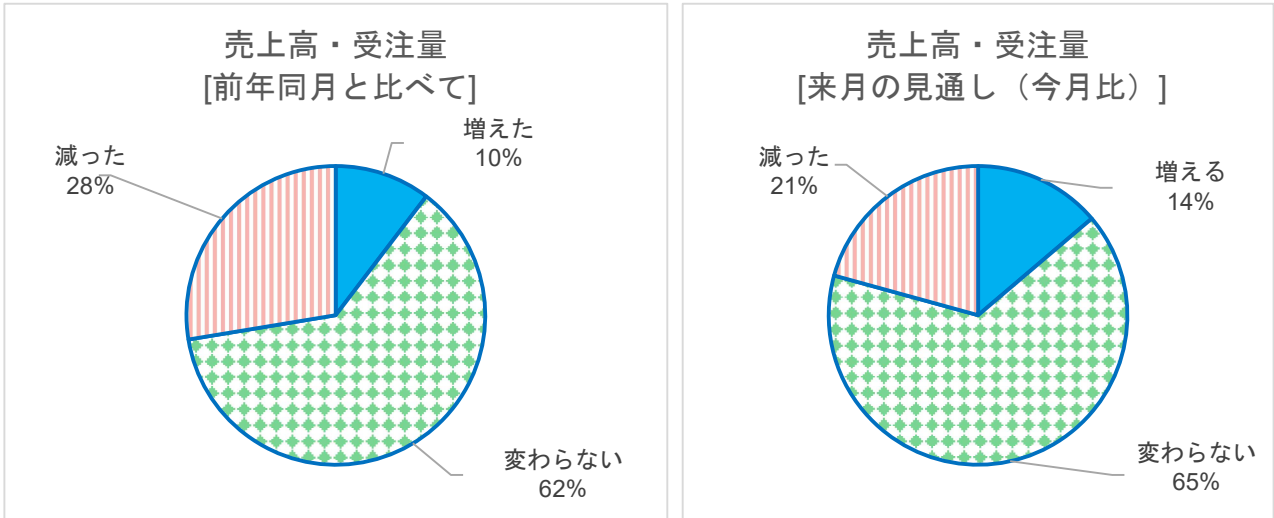
- ・2025年10月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が17.2%、「変わらない」が65.5%、「悪くなった」が17.2%となりました。
- ・2025年11月以降の見通しについて、前月と比較して、「よくなる」が17.2%、「変わらない」が65.5%、「悪くなる」が17.2%となりました。



<売上高・受注>

・2025年10月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」が10.3%、「変わらない」が62.1%、「減った」が27.6%となりました。

・2025年11月以降の見通しについて、前月と比較して、「増える」が13.8%、「変わらない」が62.1%、「減る」が27.6%となりました。



【景気動向DI (毎月版)】

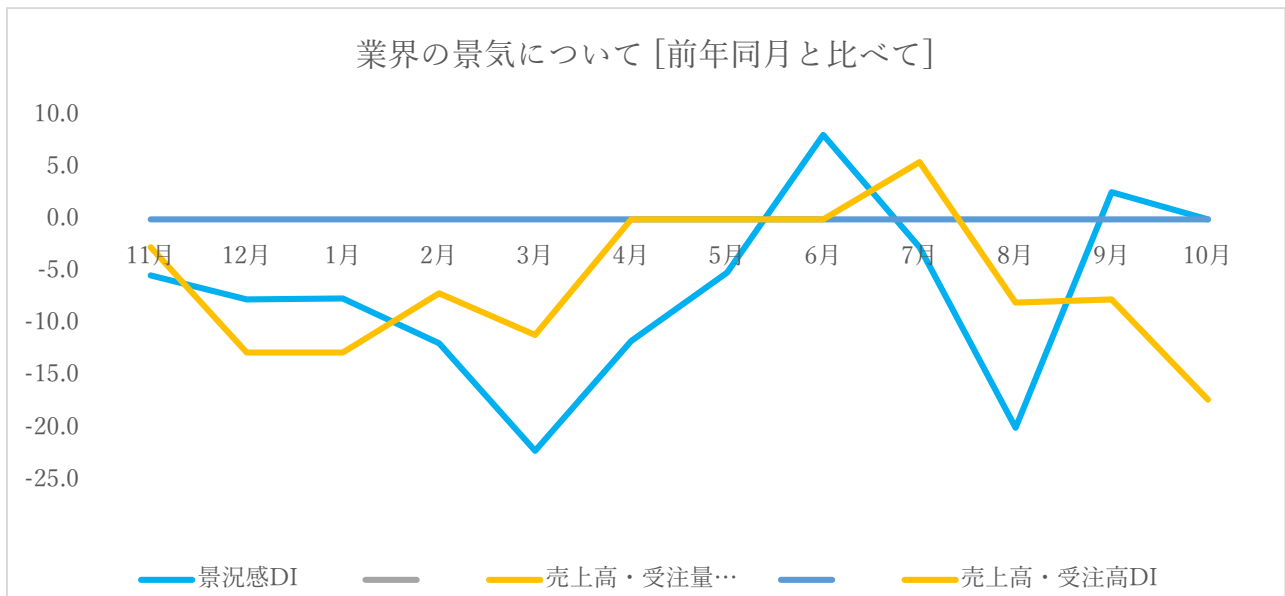
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2024年11月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



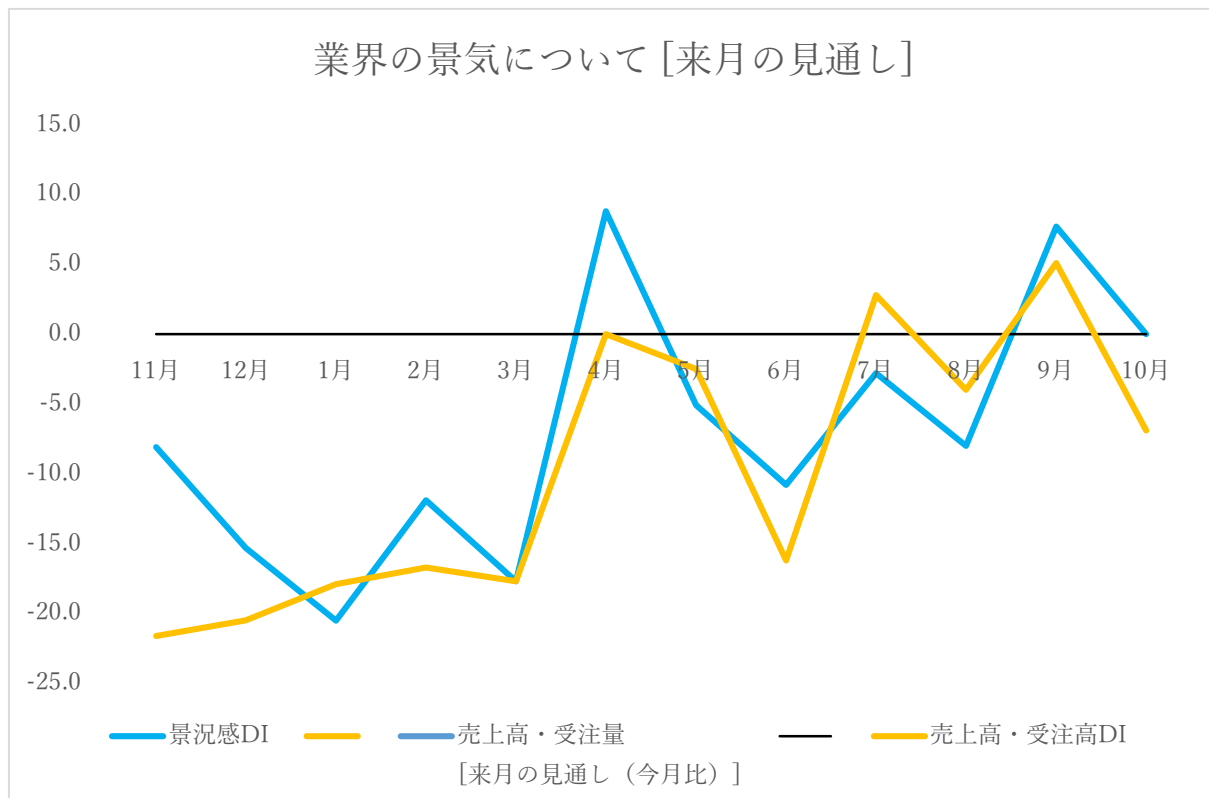
業界の景気について [前年同月と比べて]

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
景況感DI	-5.4	-7.7	-7.6	-11.9	-22.2	-11.7	-5.1	8.1	-2.7	-20.0	2.6	0.0

売上高・受注量 [前年同月と比べて]

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高・受注高DI	-2.7	-12.8	-12.8	-7.1	-11.1	0.0	0.0	0.0	5.5	-8.0	-7.7	-17.3

2024年11月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について  
[来月の見通し(今月比)]

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
景況感DI	-8.1	-15.3	-20.5	-11.9	-17.7	8.8	-5.1	-10.8	-2.8	-8.0	7.7	0.0

売上高・受注量  
[来月の見通し(今月比)]

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高・受注高DI	-21.6	-20.5	-17.9	-16.7	-17.7	0.0	-2.5	-16.2	2.8	-4.0	5.1	-6.9

#### 【調査対象者のコメント】

業種区分	最近の経営環境で影響を感じたこと
	<p>①最近の仕入や原材料、光熱費の値上がりについて、どのような影響を感じていますか？また、どのような対応や工夫をされていますか？</p> <p>②この1か月の売上や客数など、商売の状況はいかがでしたか？</p> <p>③このところの商売や地域の動きで、「気になる」「変わってきた」と感じるものがあれば教えてください。</p>
鉄骨工事業	① 価格転嫁も難しいため、生産性を上げるための検討をしている。
鋳材(卸)	最近値上がりが落ち着いてきたので、影響は少なくなった。
鉄材料(販)	仕入れ価格は高止まり。少量販売なので、価格転嫁に大きな影響はない。
警備業	原材料・光熱費等の値上がりについての請負単価のアップの交渉については、一部ご理解いただけるものはありますが、十分とはいえない。
社会保険労務士	製造業で正規社員の求人を出しているが、60歳以上の応募者の割合が多く、若い世代の中途応募者は少ない。
社会保険労務士	経費削減についてはWindows10の中古PCを購入し11へアップしたため、1台3万円台に抑える事ができた。
ディスプレイ業	物価高はまだ上昇傾向なので、取引先にも理解頂けるよう通達している。
茶(加・小)	既存商品の値上げは難しく、新メニューとして単価が高い商品構成を増やす取組をしている。お客様も値上げによる生活費の圧迫から、外食の回数が減っているようにも感じるため、イベント性や独自性を増やした取組も強化中。

木製品(製)	価格に反映させることとする。そうしないと日本人の価格に対する意識が変わっていかないと思う。
サッシ・ドア(製)	相変わらず受注量は少ない。決まっても納期が短かく厳しい。
玩具(販)	最近の仕入れや原材料、そして光熱費の急激な値上がりについて、経営への影響を非常に強く感じる。
家庭電化製品(販)	工事部材が値上がりしているので、工事費の見直しを行ない、新しい料金で工事を行なっている。
事業協同組合(青果)	毎月のように原材料が値上がりしているため、販売価格を値上げした。
事業協同組合(機械)	自動車サプライチェーンにおけるネクスperia半導体の影響が数か月続く。
事業協同組合(鉄)	光熱費は新電力に切り替えた。毎年新しい新電力の会社にシフトするか検討している会社が増えている。
事業協同組合(ものづくり)	価格転嫁は比較的できている。
事業協同組合(鍍金)	価格転嫁の難しさを感じる。
梱包資材(卸)	円安がまた進んでおり更なる値上げを懸念している。都度価格を改定している。
鉄骨工事業	② 昨年と比較して、業界全体の仕事量が減っている。
鋳材(卸)	固定客があり販売をしているが、売り上げは落ちている。
鉄材料(販)	客数はかなり減った。
警備業	公共工事の繁忙が本格的になり、前月に比べ忙しくなった。
社会保険労務士	産後パパ育休の申請が急増して対応に追われた。
ディスプレイ業	今月は繁茂期の為、前年同月より売上増加となった。
茶(加・小)	飲食店としては、とても落ち着いている。
木製品(製)	他の月と変わらず、安定していた。
サッシ・ドア(製)	夏に受注が集中したため、一息感があった。先行きは相変わらず悪い。
玩具(販)	来店客数、通販の落ち込みが感じられた。
家庭電化製品(販)	この1ヵ月は、前年同月、先月、に比べて売上や客数は減少した。
事業協同組合(石油)	物価高に影響された買い控えにより、前年及び前月と比べ売上が減少した。
事業協同組合(機械)	米国関税が落ち着いたが半導体不足。
事業協同組合(鉄)	トランプ政権による関税の影響がどのように出てくるか様子見姿勢である。
事業協同組合(ものづくり)	横ばいが多い。
事業協同組合(鍍金)	変わらない。
塗料(卸)	落ち着いた時期。
梱包資材(卸)	個別のお客様の売上が突発で発生するも、全体としては落ち込み傾向。
鋳材(卸)	③ 工作機や木工機などの製造機械やプレス型の受注が減少している。
鉄材料(販)	お客様となる自動車修理工場や板金塗装屋、二輪販売店の来客がとても少ない。先方の客数も減っているのか？
税理士	土日祝日でもシャッターが閉まっているお店が多くなった。
警備業	警備業では、他県からの参入が多くなった。
社会保険労務士	来月で現行の健康保険証が終わるのは大きな変化だと感じている。
ディスプレイ業	コストを抑えることに重点を置かれている感じ。
茶(加・小)	お客様は値上げに対して反発はなくなり、当たり前と感じ取るようになったが、気軽に追加オーダーは減り、目的がはっきりした上でご来店されている。

木製品(製)	海外からの需要が増えている。
玩具(販)	業界最大手メーカーによる、昨年から6月までに順次実施された価格改定の影響が、ここの所顕在化してきている。
家庭電化製品(販)	お客様の高齢化による、商品購入マインドの低下を感じる。
事業協同組合(機械)	物価上昇の速度に追いつくほど賃金の上昇が行われない中小企業には、財源がない。
事業協同組合(鉄)	稼ぐ力、活性化とはいうものの様子見姿勢。
梱包資材(卸)	より安く購入できる方法や企業を探す傾向を強く感じる。
建築設計業	自社 HP のページアクセスを検索サイトでの順位を参考にしているが、最近では AI からの流入が増えており、自分自身も調べ物をする時に AI を使うことが多くなった。

以 上

# 浜松景気ウォッチャー調査の結果について

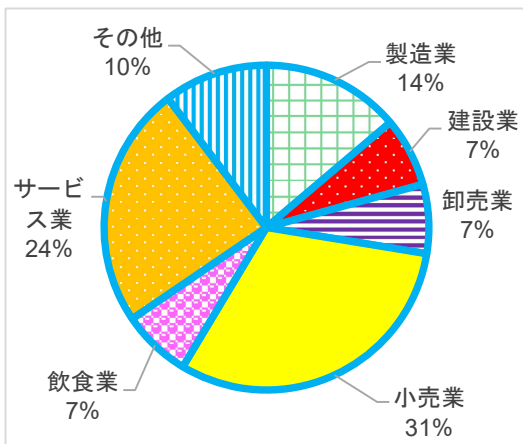
2025年11月期調査結果（2026年1月発表分）

浜松商工会議所

## 調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2025年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

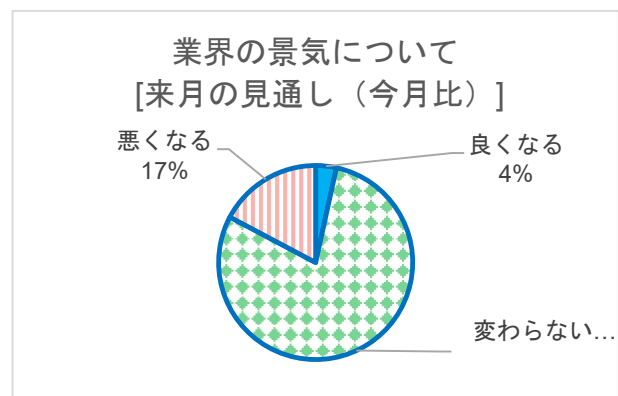
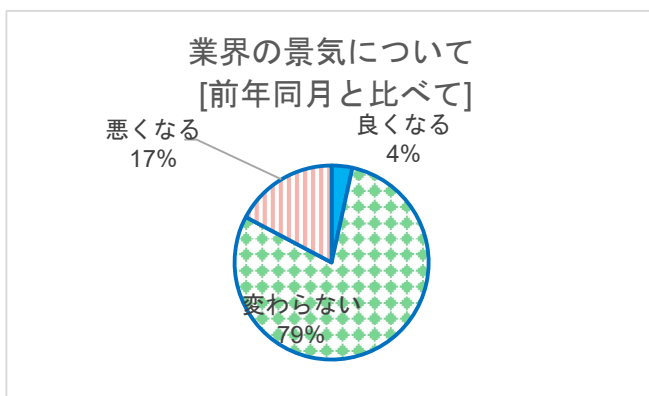
業種	回答者数	構成比
製造業	4	13.8%
建設業	2	6.9%
卸売業	5	17.2%
小売業	8	27.6%
飲食業	1	3.4%
サービス業	8	27.6%
その他	1	3.4%
計	29	100%



## 調査結果のポイント

### <景況>

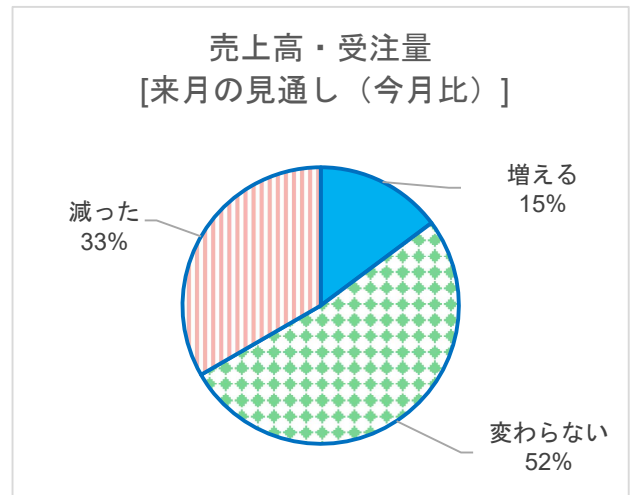
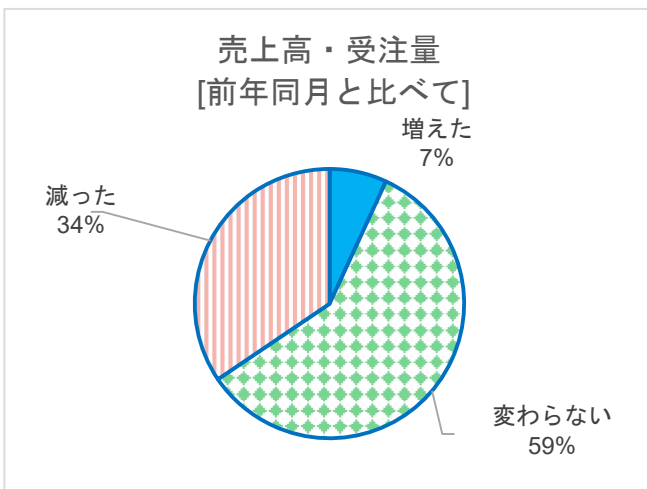
- ・2025年11月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が3.4%、「変わらない」が79.3%、「悪くなった」が17.2%となりました。
- ・2025年12月以降の見通しについて、前月と比較して、「よくなる」が3.4%、「変わらない」が79.3%、「悪くなる」が17.2%となりました。



<売上高・受注>

・2025年11月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」が6.9%、「変わらない」が58.6%、「減った」が34.5%となりました。

・2025年12月以降の見通しについて、前月と比較して、「増える」が14.8%、「変わらない」が51.9%、「減る」が33.3%となりました。



【景気動向DI（毎月版）】

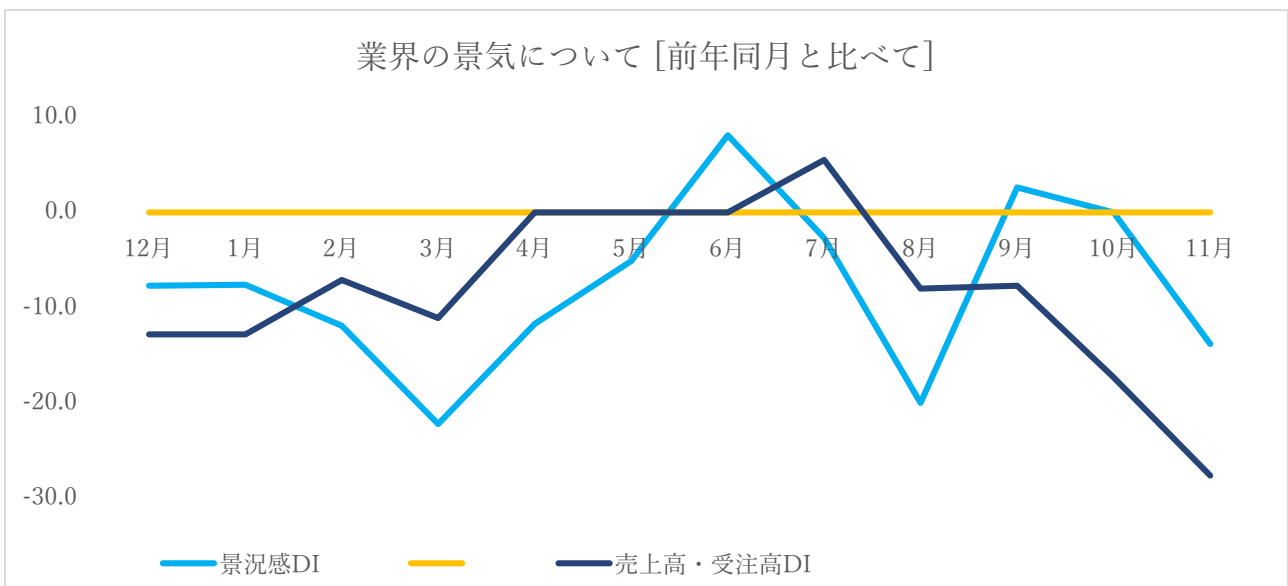
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI（ティフュージョン・インデックス）…前年同月比または前期比で「よくなった（よくなる）」と「悪くなった（悪くなる）」と回答した企業比率を引いた数値。

⇒0より上ならば「よくなった（よくなる）」と回答した人が「悪くなった（悪くなる）」と回答した人が多いことを意味します。

2024年12月からの景況感と売上高・受注高（前年同月比）は下記の通りです。



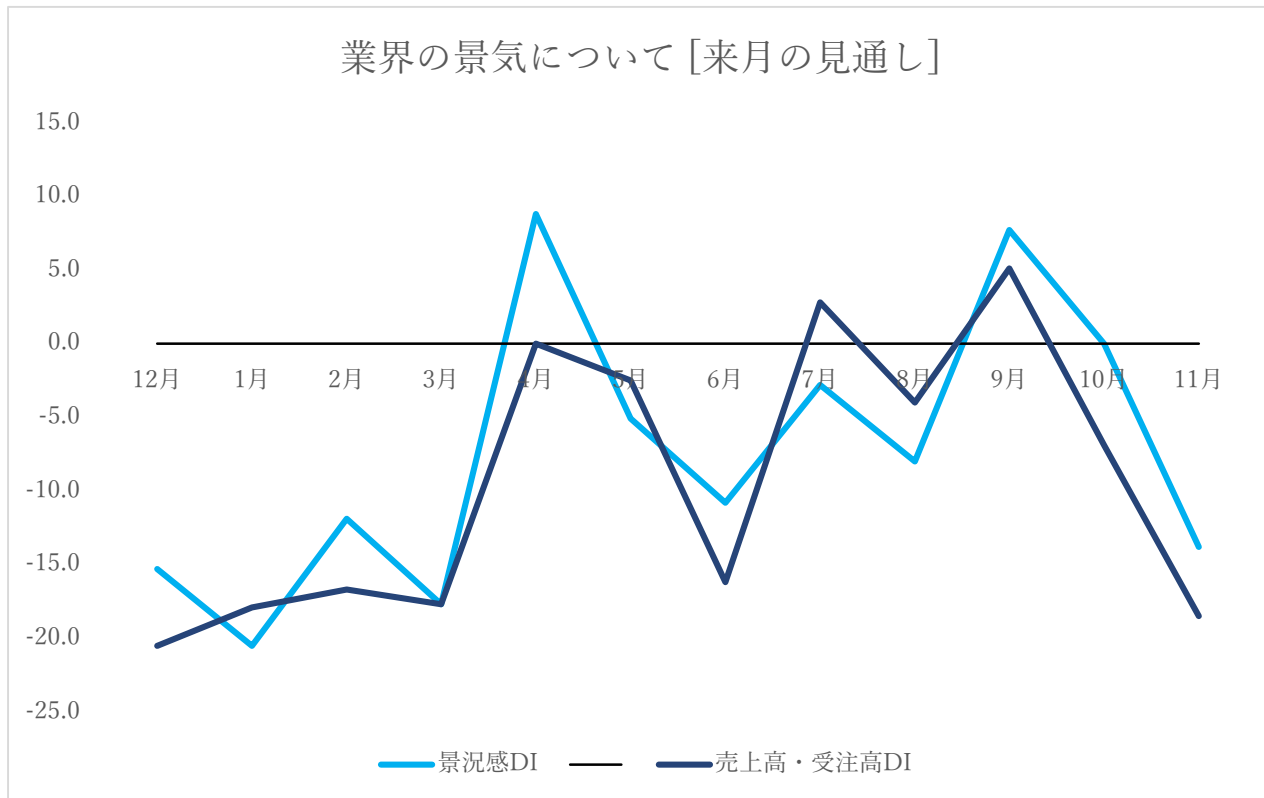
業界の景気について  
[前年同月と比べて]

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
景況感DI	-7.7	-7.6	-11.9	-22.2	-11.7	-5.1	8.1	-2.7	-20.0	2.6	0.0	-13.8

売上高・受注量  
[前年同月と比べて]

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高・受注高DI	-12.8	-12.8	-7.1	-11.1	0.0	0.0	0.0	5.5	-8.0	-7.7	-17.3	-27.6

2024年12月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について  
[来月の見通し(今月比)]

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
景況感DI	-15.3	-20.5	-11.9	-17.7	8.8	-5.1	-10.8	-2.8	-8.0	7.7	0.0	-13.8

売上高・受注量  
[来月の見通し(今月比)]

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高・受注高DI	-20.5	-17.9	-16.7	-17.7	0.0	-2.5	-16.2	2.8	-4.0	5.1	-6.9	-18.5

【調査対象者のコメント】

業種区分	最近の経営環境で影響を感じたこと
自動車(小・修)	<p>① キャッシュレスは売掛が減り役立っているが、税金の部分にも手数料がかかってしまうため考えなくてはならない。</p> <p>② この1か月の売上や客数など、商売の状況はいかがでしたか？</p> <p>③ このところの商売や地域の動きで、「気になる」「変わってきた」と感じるがあれば教えてください。</p>
税理士	会計ソフトのクラウド化やペーパーレス化。
警備業	会計・グループウェア・書類のクラウド管理の利用。デジタルディスプレイの活用。
楽器(製)	会計ソフトを導入し業務の軽減を図っているが、まだ導入直後でのため操作に慣れず効率化は図れて。徐々に効率化を想定。
社会保険労務士	デジタル化によって効率が良くなったのもつかの間、急にエラーを生じて復旧に時間がかかる事が度々。Windows11 (OS) に疑問符。
経営コンサルタント	バーコードやQRコードを使った生産管理システム導入。
ディスプレイ業	紙での請求書をメール送信に切り替えたいが、相手先によって受け入れられないという場合があり切替に難航している。

茶(加・小)	日本茶専門店の小売ではキャッシュレス導入は進んでいるものの、低単価ゆえ手数料負担が大きく、在庫・顧客管理などのデジタル化は導入コストと運用の難しさから十分に活用できていないのが現状。関心は高い一方、継続運用できる仕組み作りが今後の課題。
玩具(販)	会計ソフト、SNS活用、キャッシュレス導入など取り組みはしているが、使いきれていない状態。
家庭電化製品(販)	LINEを利用して、工事費の見積、工事の施工管理を行っている。
事業協同組合(鉄)	能力開発セミナー、AI研修の参加により従業員のスキルは向上しつつある。ただ業務の効率化が図られているかと言えば、導入し使いこなすレベルにまでは達成していない。
事業協同組合(ものづくり)	一部企業で試行的にAI活用による事務関係の業務改善を実施している。
居酒屋	PayPayを使っている。全てのキャッシュレスを使えるようにしてしまうと、ランニングコストをキャッシュで回せなくなる為、どれもこれも使えるようには出来ない。
梱包資材(卸)	デジタル化がどこまで必要なのか懐疑的。
建築設計業	法の改正による、構造計算ソフトや省エネ計算ソフトの購入が必要となってきた、費用負担が大きくなっている。
鑄材(卸)	② 特に売り上げは変わらず。
税理士	繁忙期。
鉄材料(販)	来客数、電話の問い合わせ、いずれも減少。
社会保険労務士	7月～9月にかけて、受注減の状態が継続した。また、原材料費、燃料費の増加により、経常利益減が生じた。
楽器(製)	3連休が2回あったおかげもあり売り上げは良かった。浜松市内だけでなく他地域からの注文もあり、全体として良い売上となった。
社会保険労務士	健康保険の被扶養者調査があったため、ずいぶん前に就職していたのに届出ていなかったケースが例年より多くあった。
ディスプレイ業	11月が繁忙期の為、売上は上がったが、前年比と同様だった。
茶(加・小)	季節感のズレで、この1か月は客数・売上ともに前年をわずかに下回り、特に平日の来店に弱さが見られた。気温変動や消費マインドの低下が影響している一方、週末のイベント時は比較的堅調で、需要の偏りが課題となっている。
玩具(販)	来客数など前年に比べて厳しい状況。
家庭電化製品(販)	前年に比べて、客数、売上が減少した。
事業協同組合(石油)	ガソリンの旧暫定税率廃止が12月31日に決定し、政府による補助金は12月11日まで段階的に増額中。これに伴う買い控えなどにより、11月の販売数量は前年に比べ減少した。
事業協同組合(機械)	特に大きな変化はないが、収益の伸びは少ない。
事業協同組合(鉄)	製造業の売上は横ばい。
梱包資材(卸)	客数は変わらないが売上は減っている。ユーザーの業績に直結する業態なので近年はずっと下降気味。
税理士	③ 自動車関連の受注変動が激しい。
鉄材料(販)	材料の問い合わせすら無い。
税理士	会社経営について、今後の事を考えると不安であるという人が多くなった。
警備業	県外からの競合他社の参入が増えた。

楽器(製)	商品の値上げをしてから、いまいち動きが鈍いと感じていたが、最近その影響を感じる事が少なくなっている。物価の高騰に消費者も困るとは言いながら、慣れてきてしまっているのではないかと感じる。
経営コンサルタント	浜松はインバウンドの客が少ない。
ディスプレイ業	時期的なものか？10月～11月は取引先全般に忙しく動いていた感じ。
茶(加・小)	地域では消費を控える動きが続く一方、品質や体験価値を求めのお客が増え、売れ筋が中価格帯から目的買いへとシフトする傾向が見られる。また、イベント時の集客効果が高まっており、平常日の落ち込みとの二極化が進んできている。
木製品(製)	米国輸出の際に税関でのストップが増えている。
家庭電化製品(販)	お客様の高齢化のスピードが速い。電化製品を長く使用する傾向。
事業協同組合(機械)	サービス業の販売店など店舗の減少が目立つ。
事業協同組合(鉄)	大型スーパーだけでなく、ファーマーズマーケット等のキャッシュレス化が進み会計レジ待ちが短縮されている。個人の医院でも PayPay 支払が可能どころが増えている。
梱包資材(卸)	物の動きがかなり落ち込んでいる。通販などもキャンペーンの時期以外は伸びを感じない。
建築設計業	建設工事費の価格上昇により、民間の工事発注は減ってきている感があるが、市や県の官公庁の発注業務も受注している為、事務所としての売上は変化横ばい。施工業者は、現場監督員の人数によって受注できる量に限度があるため、全体的に忙しい状況が続いている。

以上

# 浜松景気ウォッチャー調査の結果について

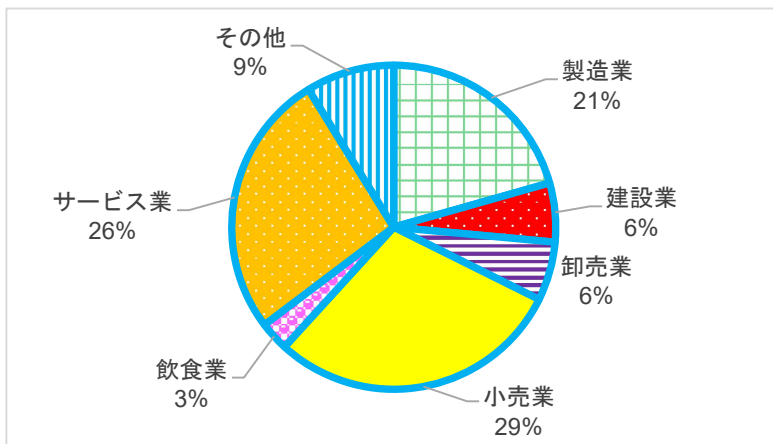
2025年12月期調査結果（2026年2月発表分）

浜松商工会議所

## 調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2025年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

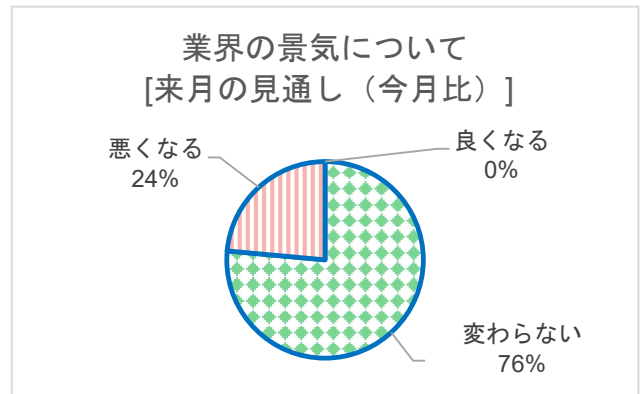
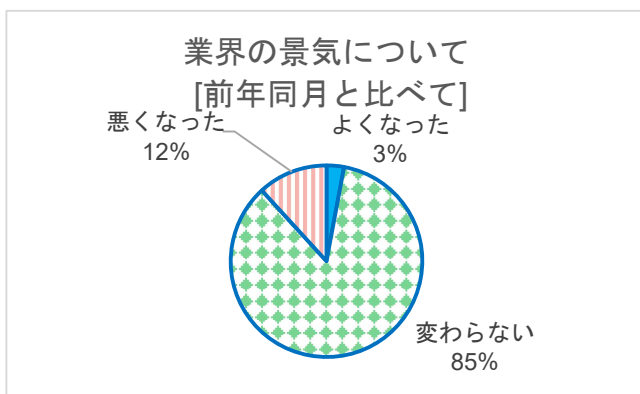
業種	回答者数	構成比
製造業	7	20.6%
建設業	2	5.9%
卸売業	2	5.9%
小売業	10	29.4%
飲食業	1	2.9%
サービス業	9	26.5%
その他	3	8.8%
計	34	100%



## 調査結果のポイント

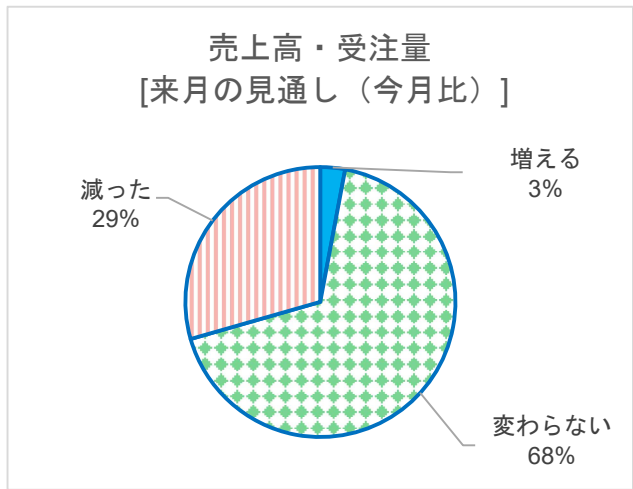
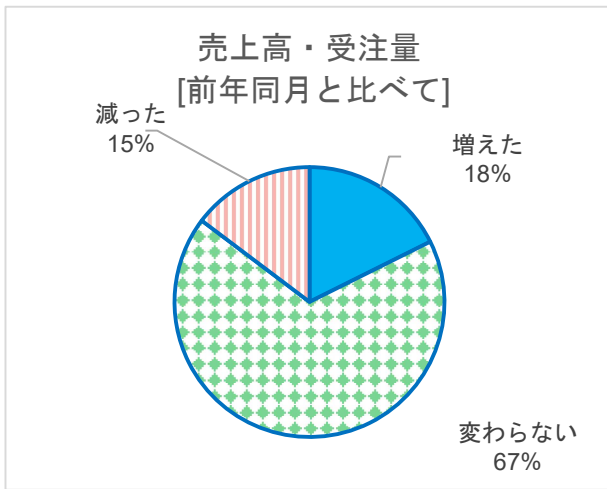
### <景況>

- ・2025年12月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が2.9%、「変わらない」が85.3%、「悪くなった」が11.8%となりました。
- ・2026年1月以降の見通しについて、前月と比較して、「よくなる」が0%、「変わらない」が76.5%、「悪くなる」が23.5%となりました。



<売上高・受注>

- ・2025年12月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」が17.6%、「変わらない」が67.6%、「減った」が14.7%となりました。
- ・2026年1月以降の見通しについて、前月と比較して、「増える」が2.9%、「変わらない」が67.6%、「減る」が29.4%となりました。



【景気動向DI (毎月版)】

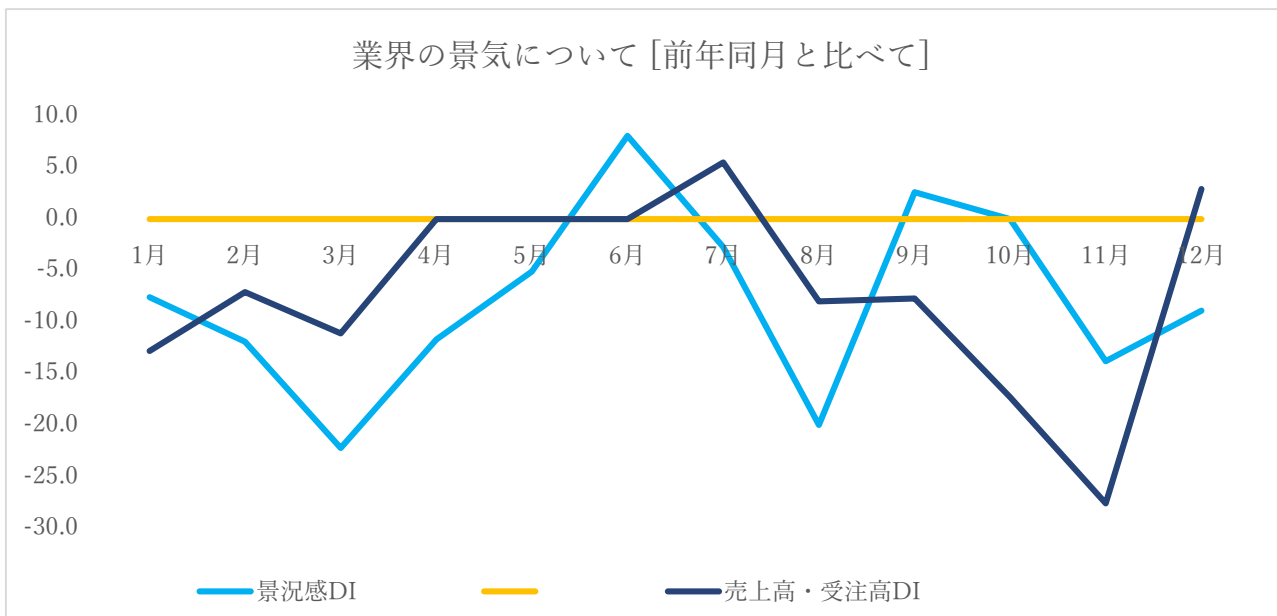
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2025年1月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



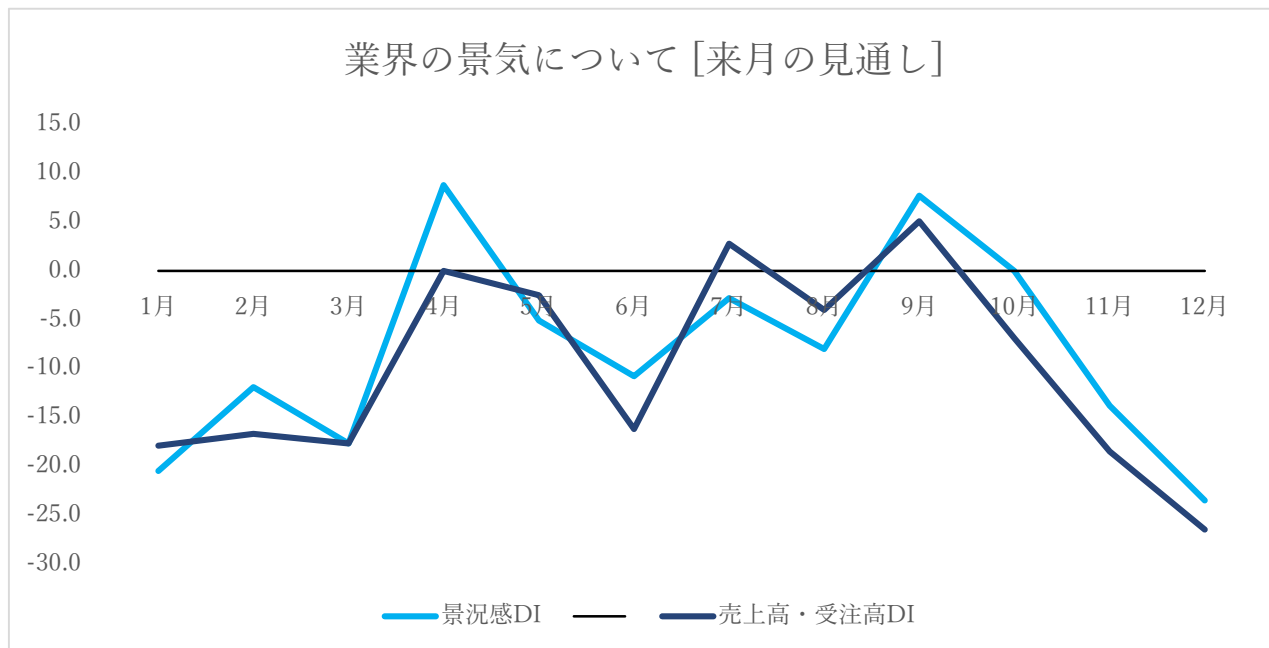
業界の景気について [前年同月と比べて]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
景況感DI	-7.6	-11.9	-22.2	-11.7	-5.1	8.1	-2.7	-20.0	2.6	0.0	-13.8	-8.9

売上高・受注量 [前年同月と比べて]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高・受注高DI	-12.8	-7.1	-11.1	0.0	0.0	0.0	5.5	-8.0	-7.7	-17.3	-27.6	2.9

2025年1月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について  
[来月の見通し(今月比)]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
景況感DI	-20.5	-11.9	-17.7	8.8	-5.1	-10.8	-2.8	-8.0	7.7	0.0	-13.8	-23.5

売上高・受注量  
[来月の見通し(今月比)]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高・受注高DI	-17.9	-16.7	-17.7	0.0	-2.5	-16.2	2.8	-4.0	5.1	-6.9	-18.5	-26.5

#### 【調査対象者のコメント】

<u>最近の経営環境で影響を感じたこと</u>	
業種区分	① お客さんの動きや消費傾向の変化について最近、客数や単価、購買行動などにどのような変化を感じていますか？ ② この1か月の売上や客数など、商売の状況はいかがでしたか？ ③ このところの商売や地域の動きで、「気になる」「変わってきた」と感じるがあれば教えてください。
税理士	① 節約志向はあるものの、現実にはそれなりに消費していると感じる。
税理士	年末のおせち需要等により12月は売上が増加している。
楽器(製)	物価が上がっているのですが、値段が高いものに対する抵抗感は以前に比べて薄まっていると思うが、景気の状態も含めてやはり購入に関しては渋い印象が強い。
社会保険労務士	秋頃には数件の事業者が廃業を口にしていたが、風向きが変わってきた様子。需要回復への期待が感じられた。
茶(加・小)	来店客数は大きな増減はないが、市外・県外からの来店が徐々に増えている実感がある。 一方で、浜松市内ではニュースで言われるほどインバウンド需要は感じにくく、消費は慎重で、目的買い・価値重視の購買行動が目立つ。
木製家具(製)	物価高騰で見積もりと予算があわず、購入意欲があっても話が決まらない。
家庭電化製品(販)	来店客数は減ったが、電話による注文が増えている。
事業協同組合(機械)	自動車関連企業においては概ね安定した受注があるが、その他の業界においては需要の変化先が見通しにくい。

集客コンサルタント	飲食店の事例：客数については、曜日や時間帯による差が以前より大きくなっている。全体として大きく増減しているというより、「来る日・来ない日」がはっきりしている。単価は、必要なものにはお金をかける一方で、そうでないものは控えるなど、お客様の選択がシビアになっている印象。
事業協同組合(石油)	ガソリンの旧暫定税率廃止が12月31日に実施され、政府による補助金は12月11日までに同額分まで増額し価格は安くなったが、物価高の影響による買い控えで12月の販売数量は前年に比べ減少した。
事業協同組合(鉄)	物価高、外食費の高騰などお正月の需要を除くと買い控え、会席の減少傾向がある。当組合も忘年会、新年会のうち忘年会は取りやめることとし、新年会のみ実施した。
事業協同組合(鍍金)	受注が減少している。
居酒屋	インバウンドの影響はない。常連客が増え、忘年会も前年よりは増えた。
電気めっき業	アメリカの影響に左右されます。
梱包資材(卸)	コスト削減の話が増えている。
税理士	② 年末年始の効果で集客アップしている。
警備業	売上は、前年と変わらない。
楽器(製)	今まで全く縁がなかった業界とのコラボレーション等、今までと違う販路が徐々に増えてきている点で忙しかった。
社会保険労務士	これまでの師走はとんでもなく忙しかったが、平時よりちょっと仕事が多い程度になってきた。
ディスプレイ業	例年と変わらず、年末～1月は業務が減る。
茶(加・小)	物価上昇に合わせた売上上昇が13%ほどある。客単価は上がり、客数は少し減る。
木製品(製)	クリスマスプレゼント用の商品購入が多かった。
木製家具(製)	年末は高くても正月ぐらいは！と「食料品」にはお金がまわるが「住」には、まわらない。
集客コンサルタント	この1か月の売上・客数は、前月と比べて大きな変動はなく、概ね横ばいだった。
家庭電化製品(販)	年末商戦は、例年と比べて忙しくなかった。お客様は、商品を必要としなければ購入されないと感じる。
事業協同組合(機械)	大きな変化はないが、景気よりも物価の上昇が大きいように思われる。
事業協同組合(鍍金)	売上が減少している。
居酒屋	各社が、数十人の忘年会を開催していた。その為、宴会数が増えた。
梱包資材(卸)	特に変化は見られないが、悲観的な話をするユーザーが多いと感じる。
建築設計業	この1か月間では、大きな変化はなかった。
鋳材(卸)	③ 鋳造用耐火物の黒鉛やセラミックは、中国からの輸入品なので、今後が心配である。
税理士	SNSでの集客が欠かせないなど、IT化による業務量の増加。
警備業	他県からの競合他社の参入が増している。
社会保険労務士	特に事務的処理にAI活用が進んできている。AI研修を実施する事業所も散見する。
楽器(製)	商品の中でも値上げ幅に違いがあるが、上がったことによって少なくなったものもあれば、逆に増えたものもあり、価格設定の難しさを感じる。

社会保険労務士	年収の壁引き上げの周知が不十分で、相変わらず年末の働き控えがあった。
経営コンサルタント	常葉学園の誘致で、期待している店舗が非常に多い。
ディスプレイ業	企業の展示会が活発になってきている感じがする。
茶(加・小)	価格よりも「納得感」や「背景」を重視する消費行動が目立ち、安さ一辺倒では選ばれにくくなっている。地域イベントや SNS をきっかけに、市外・県外からの来店が徐々に増えている点も変化として感じます。
木製家具(製)	地域の仕事が少く、浜松をでた現場が多くなった。
集客コンサルタント	最近、街中の飲食店を見てみると、これまで若年層が中心だった低単価の居酒屋や飲食店に、40～50代のサラリーマンの来店が増えているように感じる。また、街中では比較的客単価を抑えた飲食店の新規オープンが続いており、価格を重視する層の広がりや、外食における「手軽さ」を求める動きが強まってきている印象。物価上昇の影響も背景にあり、年代を問わずコストパフォーマンスを重視した店選びが進んでいる。
家庭電化製品(販)	蛍光灯の製造が 2027 年に終了する関係で、LED 照明器具の注文が多い。AV 商品の動きは鈍い。
事業協同組合(機械)	インフレ感が大きい。物価が安定しているとはいえない。
事業協同組合(鉄)	飲食店の単価が上昇傾向にあり、外食が減っている。白脇地区にはスーパーマーケットが 2 店舗進出している。1 店舗は近日中に新規開店予定。
事業協同組合(鍍金)	経済の停滞を感じる。
居酒屋	若年層が街中へ飲食する分母が減っていると感じる。
注染ゆかた(加)	業界によって仕事の多い少ないがはっきりしている。慢性的な人不足であり受注したくてもできない現象が起きてきている。取適法の説明会のニーズがある。
電気めっき業	現調化の流れを少し感じる。
梱包資材(卸)	大手に人が引き抜かれている話を良く聞くようになった。中小はさらに人材が乏しくなると思うと今後の状況が危惧される。

以上

# 浜松景気ウォッチャー調査の結果について

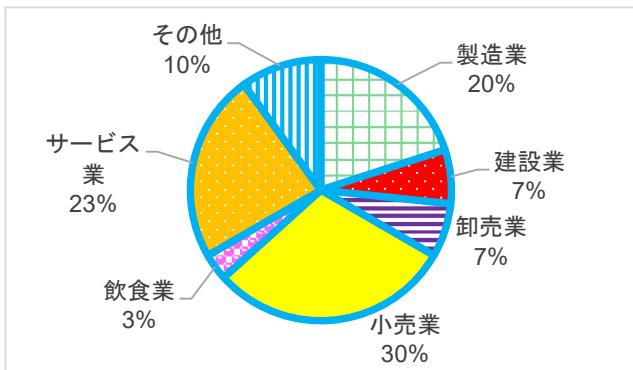
2026年1月期調査結果（2026年3月発表分）

浜松商工会議所

## 調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2025年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

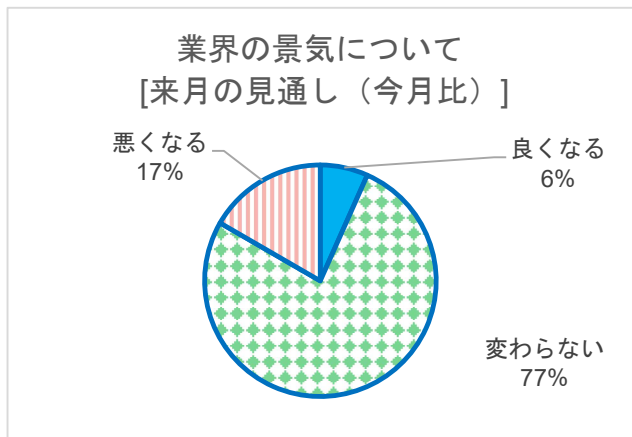
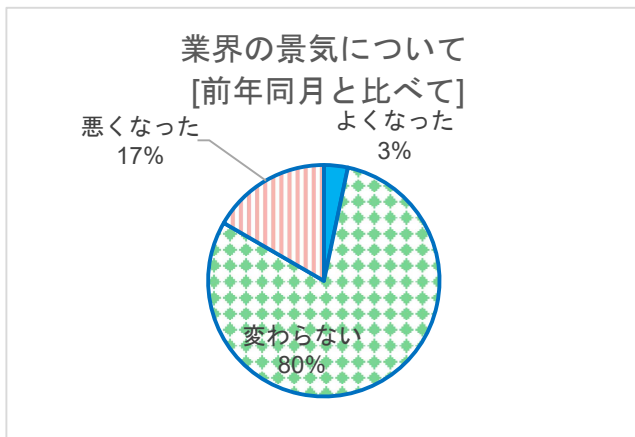
業種	回答者数	構成比
製造業	6	20.0%
建設業	2	6.7%
卸売業	2	6.7%
小売業	9	30.0%
飲食業	1	3.3%
サービス業	7	23.3%
その他	3	10.0%
計	30	100%



## 調査結果のポイント

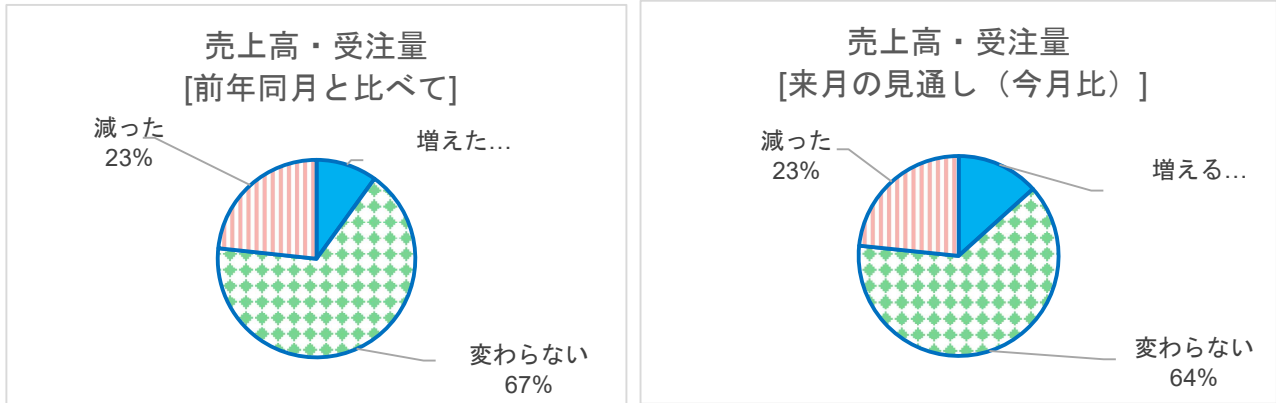
### <景況>

- ・2026年1月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が3.3%、「変わらない」が80.0%、「悪くなった」が16.7%となりました。
- ・2026年2月以降の見通しについて、前月と比較して、「よくなる」が6.7%、「変わらない」が76.7%、「悪くなる」が16.7%となりました。



<売上高・受注>

- ・2026年1月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」が10.0%、「変わらない」が63.3%、「減った」が23.3%となりました。
- ・2026年2月以降の見通しについて、前月と比較して、「増える」が13.3%、「変わらない」が63.3%、「減る」が23.3%となりました。



【景気動向DI (毎月版)】

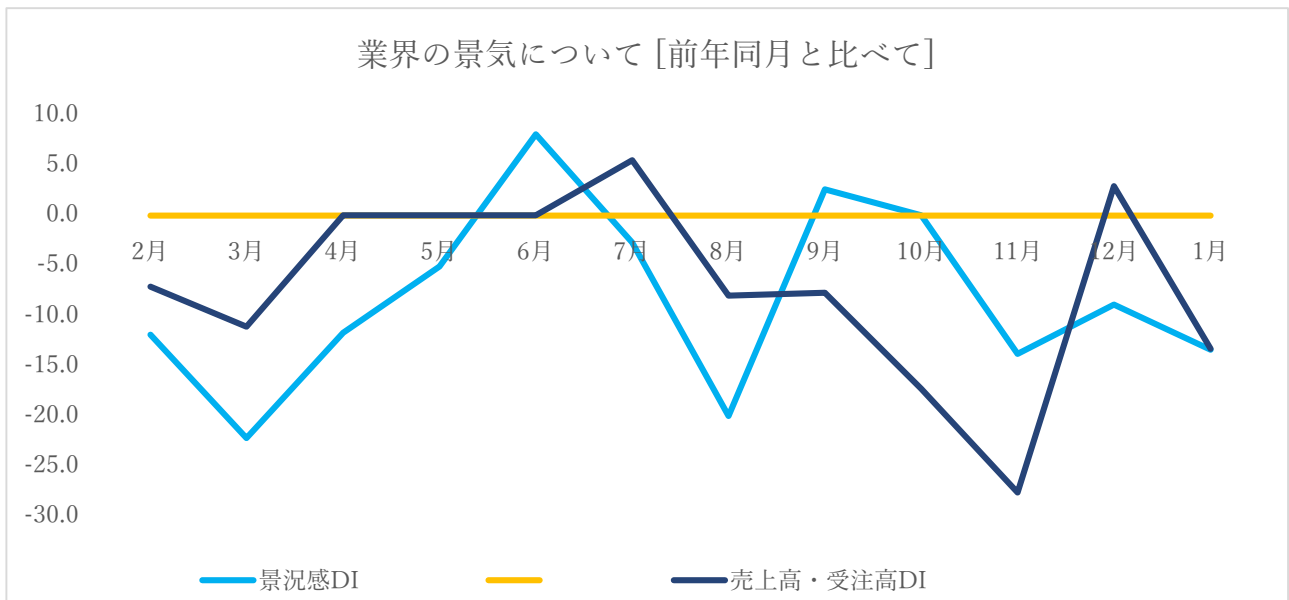
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2025年2月からの景況感と売上高・受注高(前年同月比)は下記の通りです。



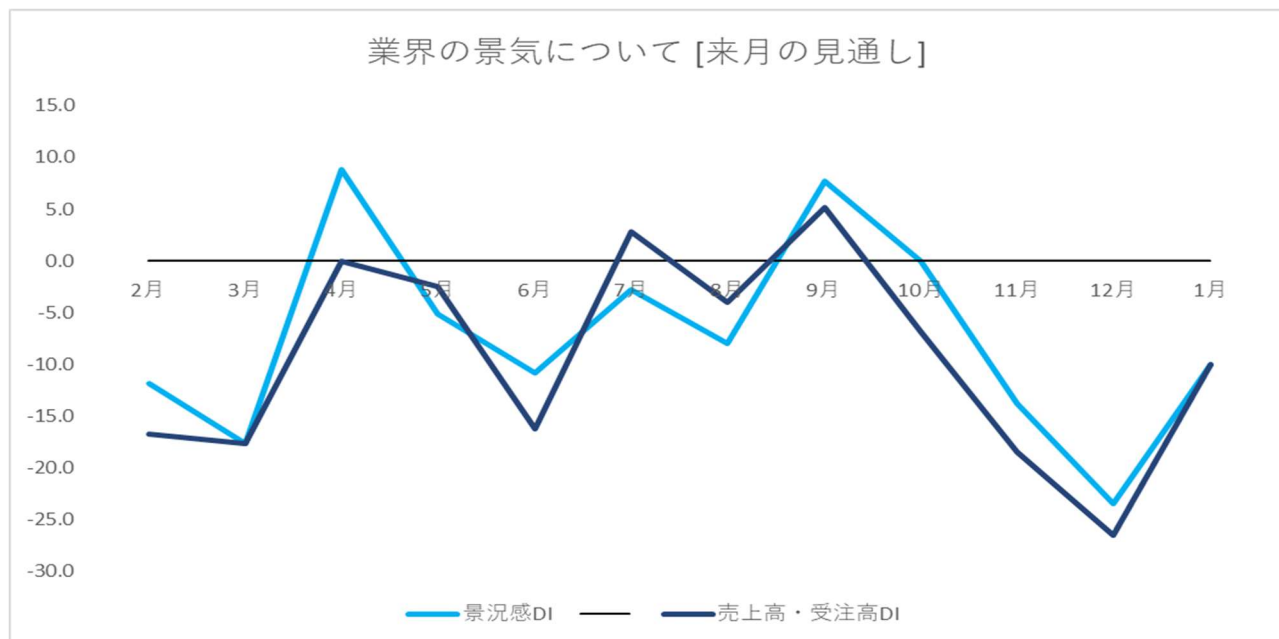
業界の景気について [前年同月と比べて]

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
景況感DI	-11.9	-22.2	-11.7	-5.1	8.1	-2.7	-20.0	2.6	0.0	-13.8	-8.9	-13.4

売上高・受注量 [前年同月と比べて]

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
売上高・受注高DI	-7.1	-11.1	0.0	0.0	0.0	5.5	-8.0	-7.7	-17.3	-27.6	2.9	-13.3

2025年2月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について  
[来月の見通し(今月比)]

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
景況感DI	-11.9	-17.7	8.8	-5.1	-10.8	-2.8	-8.0	7.7	0.0	-13.8	-23.5	-10.0

売上高・受注量  
[来月の見通し(今月比)]

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
売上高・受注高DI	-16.7	-17.7	0.0	-2.5	-16.2	2.8	-4.0	5.1	-6.9	-18.5	-26.5	-10.0

【調査対象者のコメント】

最近の経営環境で影響を感じたこと	
業種区分	<p>① 取引先・仕入先との関係や支払い条件の変化について取引先や仕入先との関係で、最近変化を感じることはありますか？</p> <p>② この1か月の売上や客数など、商売の状況はいかがでしたか？</p> <p>③ このところの商売や地域の動きで、「気になる」「変わってきた」と感じる事があれば教えてください。</p>
鋳材(卸)	① 取引先の値下げ、仕入れ先の値上げ要請がある。
楽器(製)	支払い条件の変更は特にはない。取引先の中で廃業したところもあるが、新規取引先も増えているので結果的に取引先の数はそれほど変わらない。 仕入れに関しては基本下がることはないので、何とか現状維持で仕入れられるように交渉するがなかなか難しい。
茶(加・小)	原材料の品薄が強く、全体的に売り手優位・買い手弱位の状況。 特に茶業界では、昨年末より原料相場が約2倍～5倍程度に急上昇しており、従来の取引関係があるため一定数量は確保できているものの、単価・数量ともに希望を伝えても調整が難しい状況。価格交渉の余地はなく、仕入条件は受け身にならざるを得ない現状。
玩具(販)	来店数減少で売上が低迷する中、原材料費や物流費の高騰による仕入価格の上昇が続いている。
家庭電化製品(販)	仕入れ先の営業体制が変わる為、是からはネットを利用した情報の取得、並びに営業活動が求められる。
事業協同組合(機械)	特段の変化はないが、物価上昇の影響はある。

事業協同組合(鉄)	取引先の減少、増加はないが、仕入れ価格については都度、値上り要請をされている。現状は据え置き。
梱包資材(卸)	仕入先の担当者変更により不利益がでた。今後リスクヘッジを考え同じようなことがないようにしたい。
鋳材(卸)	② 1月は稼働日数が少なく、先月より売り上げが落ちた。
楽器(製)	年明けすぐは動きが鈍かったがこれは例年通りで、その後イレギュラーな注文等が続いたので少し忙しかった。
社会保険労務士	新たな顧問先開拓に向けて動いていたが、契約に至らなかった。時期的には年の変わり目より年度の変り目の方が要望を受け易いかと感じている。
ディスプレイ業	突発的な業務(選挙関係)があり忙しかった。
茶(加・小)	値上げの分だけ購入量減。そのため売上に大きな回復感はない。
玩具(販)	年始までは帰省客等で賑わいを見せたが、月半ばからは来店数・売上ともに大きく落ち込んだ。物価高による生活防衛意識の高まりからか、連休明けの買い控えが例年以上に顕著に表れている印象。
家庭電化製品(販)	引き続き LED 照明器具の注文が多いが、一部の商品で生産待ちの商品が発生。納期が未定との回答がメーカーよりある。
事業協同組合(石油)	前月までは前年比で客数減少が続いていたが、1月は前年並みとなった。買い控えがやや落ちついてきたのかもしれない。
事業協同組合(機械)	年初の衆議院選挙で先行きが不透明。
事業協同組合(鉄)	年初に比べ落ち着いた動き。
電気めっき業	大雪の影響による客先の生産停止。
梱包資材(卸)	客先の状況に左右されることが多い為しばらく停滞している。
鋳材(卸)	③ 製造機械類の受注減で、鋳造関連企業の廃業がある。
警備業	取引先の購買担当の査定基準がお金だけの取引先が多くなった。
社会保険労務士	経営者の高齢化及び後継者不足が深刻である。特に零細企業の M&A を想定した需要は大きいと思われる。
楽器(製)	商品の価格について、今までより高価格の商品を出してみた結果、売れ行きは悪くない。納得してもらえれば買ってもらえる。
社会保険労務士	協会けんぽの電子申請が始まったので利用登録を行った。傷病手当金の支給が早くなると聞いている。
経営コンサルタント	常葉やスズキが駅南に移転するのを事業者が期待している。
ディスプレイ業	受注には至っていないが、新規の問い合わせが増えた感じがする。
茶(加・小)	一般的には消費者の購買姿勢も慎重ながら、ゆとりがある層は価値があると思う物事には高くても使う傾向も垣間見える。価格に対する反応の差が変わってきたと感じる。
玩具(販)	大学移転や本社の移転など街中の再開発ニュースとして明るい話題は多いものの「期待はしているが、今はまだ…」というまわりの感じがもどかしさを感じる。
家庭電化製品(販)	新聞折込チラシの増加を感じる。
事業協同組合(機械)	やはり諸物価の高騰、人件費の増大。
事業協同組合(鉄)	選挙で自民党が大勝し、静岡県全体でも野党共闘がうまくいかなかった話題が多い。社会保障、税制改正、暮らし向きがどう変わっていくか期待する話題が多い。

電気めっき業	中国産原材料が輸出禁止になったことによる影響。
梱包資材(卸)	ネット購入する企業が増加している。対策を考えていきたい。
建築設計業	自社の HP の分析で、インターネットでの検索が Google・Yahoo などのポータルサイトではなく、AI からの流入が増えてきた。

以上